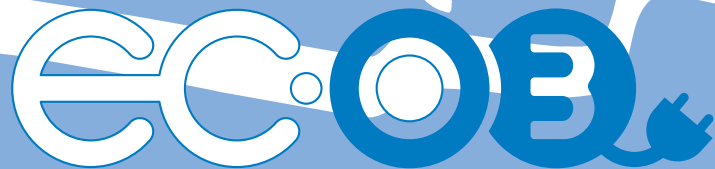




⚠ ご使用の前には必ず取扱説明書をよく読んでください。

取扱説明書



EC-03

1CB-28199-J0

ヤマハ車をお買いあげいただきありがとうございます。

この取扱説明書には、お買いあげいただいた車の正しい取り扱い方法や安全な運転のしかた、日常点検、簡単な定期点検整備などについて説明してあります。

車は万一取り扱いを誤ると、重大な事故やケガ、トラブルの原因となります。

車の正しい取り扱いをご理解いただくため、運転される前に必ず本書をお読みください。

また、メンテナンスノート、セーフティガイド（スクーターをより安全にお乗りいただくためのアドバイス）もあわせてお読みください。

本書では、正しい取り扱いおよび点検整備に関する重要な事項を下記のシンボルマークで表示しています。

	安全にかかわる注意情報を示してあります。
 警告	取り扱いを誤った場合、死亡、重傷・傷害に至る可能性が想定される場合を示してあります。
注意	取り扱いを誤った場合、物的損害の発生が想定される場合を示してあります。
要 点	正しい操作のしかたや点検整備上のポイントを示してあります。

車の受け取りの際には、お買いあげいただいた販売店から「取扱説明書」「メンテナンスノート」「セーフティガイド」「車両受け渡し確認書」を受け取り、以下の説明を必ずお受けください。

- 車の正しい取り扱い方法
- 日常点検、定期点検整備
- 保証内容および保証期間

※車をゆずるときには、次の持ち主のために本書もお渡しください。

※仕様の変更などにより、本書の図や内容が一部実車と異なることがありますのでご了承ください。

もくじ

安全運転のために.....	1-1
あなた自身のために	1-1
歩行者と他の車のために	1-5
環境との調和のために	1-5
交換部品	1-6
安全に充電していただくために	1-6

各部の名称.....	2-1
左側面	2-1
右側面	2-2
運転装置と計器類	2-3

EC-03の特徴	3-1
主な特徴について	3-1
パワーモード／標準モード	3-1
走行距離の目安	3-2
バッテリーの上手な使いかた	3-3
バッテリー残量の目安	3-4

各部の取り扱いと操作.....	4-1
おしらせ音について	4-1
キーの取り扱い	4-1
メインスイッチ	4-2
マルチファンクションメーター	4-3
暗証ロックの使いかた	4-7
ハンドルスイッチ	4-10
シートの開閉	4-11
ヘルメットホルダー	4-12
書類入れ	4-12
コンビニフック	4-12
スタンディングハンドル	4-13

日常点検	5-1
日常点検の実施	5-1
日常点検箇所／点検内容	5-1

バッテリーの充電.....	6-1
充電する場所	6-1
充電のしかた	6-3
充電時間	6-10
充電の進行状態の表示	6-11
バッテリーの知識	6-11

運転操作	7-1
発進の準備	7-1
発進	7-3
加速と減速	7-4
ブレーキ	7-4
駐車	7-5

点検整備	8-1
点検整備の実施	8-1
モーターの異音の点検	8-2
低速、加速の状態の点検	8-2
タイヤ	8-3
ブレーキレバーの遊び、 きき具合の点検	8-4
ブレーキシューの摩耗点検	8-5
バックミラー	8-6
車体各部の給油脂状態の点検	8-6
灯火装置および方向指示灯の点検	8-6
充電コードおよび充電プラグの 点検	8-7

運行において異常が認められた 箇所の点検	8-8
こんなときは	8-8

お車の手入れ	9-1
洗車	9-1
保管のしかた	9-2
アフターケア用品について	9-4

製品仕様	10-1
------------	------

ユーザー情報	11-1
二輪車を廃棄する場合は？	11-1
サービスマニュアル（別売）の 紹介	11-2
車両情報	11-2

JAU27280

JAU49960

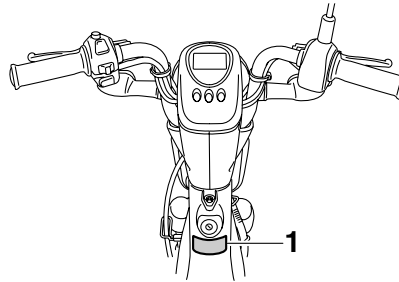
この章には、特に知っておいていただきたいこと、守っていただきたいことなどの基本的なアドバイスを述べてあります。運転するときには、次のことを守って安全運転および上手な操作を心がけてください。

安全運転とは、交通ルールを守ることだけでなく、ほかの人々が安全に通行できるように配慮することです。

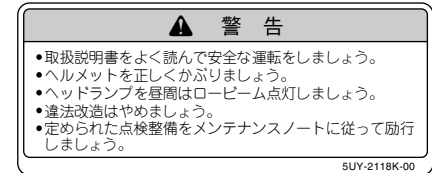
あなた自身のために 安全項目ラベルについて

運転に慣れてきますと、いろいろな注意を忘れがちになり、事故を起こすことがあります。

車に乗るときには、安全項目ラベルの注意事項をいつも守り、安全運転に心がけてください。



1. 安全項目ラベル



安全運転は正しい服装から

- ヘルメットは必ず着用してください。ヘルメットは PSC または SG、JIS マークのある二輪車用を必ず着用してください。ヘルメットは正しくかぶり、必ずあごひもをしめます。頭にしっかり合って、圧迫感のないものが最適です。
- グローブを必ず着用してください。グローブは、摩擦に強い皮製のものが適しています。
- ヘルメットにシールドを着用してください。着用できないときは、ゴーグルを使用してください。
- 運転する服装は以下のことを確認して選び、着用してください。疲労を少なくし、万一の転倒時には身体を保護します。
 - 保護性の高い服で明るく目立つ色のもの

安全運転のために

1

- 動きやすく、体の露出が少ない長袖・長ズボン



- 以下のような服装は運転操作のじゃまになります。また、回転部分に巻き込まれたり高熱になる部分に接触したりして、思わぬ事故の原因にもなりますので、着用しないでください。
 - ズボンのすそや袖口の広い服
 - 衣服の飾り物や紐など、長すぎる装飾がある服

- ロングスカートやロングマフラーなどの体に密着しない服



- 靴はかかとが低く、運転操作がしやすいものを着用してください。また、くるぶしまで覆われていて足にピッタリしたものを選んでください。

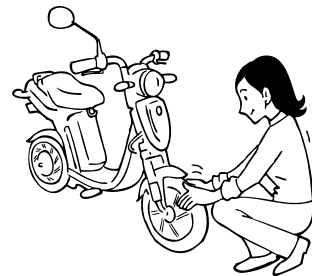
JWA11590

警告

ヘルメットを正しくかぶっていないと、万一の事故の際、死亡または重傷に至る可能性が高くなります。運転者は、必ずヘルメットをかぶり、正しい服装で乗車してください。

日常点検、定期点検整備を必ず行う

事故や故障を防ぐため、法令に準じた日常点検を運転する前に行ってください。また、法令に準じた 1 年、2 年ごとに行う定期点検も必ず実施してください。



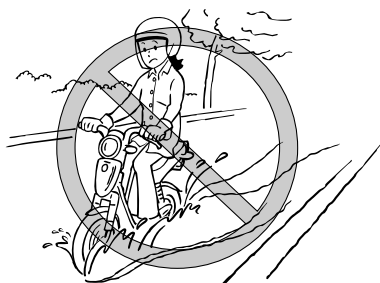
車の異状

異音が生じたり、異臭や異常な振動があるときは、車が故障しているおそれがあります。そのままにしておくと、走行に悪影響をおよぼしたり、事故につながるおそれがあり危険です。販売店で点検・整備を受けてください。

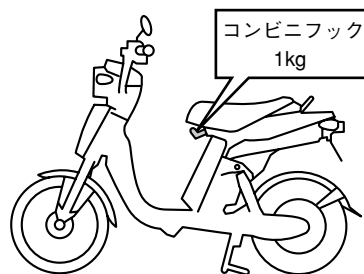
スロットルグリップに磁気を帯びたものや磁気の影響を受けるものを近づけない
強い磁気を帯びたものや、磁気の影響を受けやすいカード類、時計などをスロットルグリップに近づけないでください。

冠水した道路を走行しない

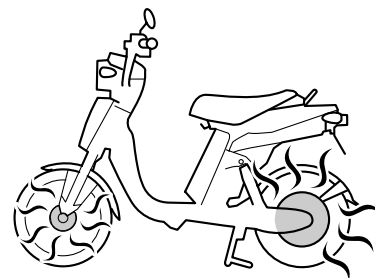
冠水した道路を走行すると、モーターが停止するだけでなく、漏電やショートなどの故障の原因となります。やむをえず、冠水した道路を走行し、水に浸ってしまったときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。



荷物を積むときは



- 上記以外の場所には荷物を積まないでください。
- 荷物を積むと、積まないときに比べて操縦安定性が変わります。荷物を積みすぎると、ハンドルが振られたりして危険です。積みすぎないように注意してください。
- ハンドルの近くには、荷物など、物を置かないでください。ハンドルの近くに物を置くと、ハンドル操作を妨げる場合があります。
- ヘッドライトの前を荷物などでさえぎらないようにしてください。ライトの熱によりヘッドライトのレンズが変色、溶損したり、荷物にまでその不具合がおよぶこともあります。
- モーターなどの熱くなるところへ荷物などの物が触れないようにしてください。



両手はハンドル、両足はフットレスト
運転するときには、両手でハンドルを握り、両足をフットレストにのせます。



押して移動するときはメインスイッチをOFFにする

車から降りて押して移動するときには、メインスイッチをOFFにしてください。

なお、後進させるときに「ゴツゴツ」した感じがありますが、モーターの特性であり故障

安全運転のために

ではありません。

乗車定員は 1 名

運転者以外に人を乗せることは道路交通法によって禁じられています。



法定最高速度は 30km/h

車の速度が法定最高速度 (30km/h) 以上になると、警告灯が点滅し、速度警告表示“SPEED”が点灯して運転者に注意をうながします。

急激なハンドル操作や片手運転はしない

急激なハンドル操作や片手運転は、横すべりや転倒の原因となります。絶対にしないでください。



むやみに部品の取り外しはしない

むやみに部品の取り外しはしないでください。事故や故障の原因となることがあります。

JCA15220

注意

部品交換が必要な場合は正規の規格のものを使用するよう、販売店へ依頼してください。規格が異なった部品を使用すると、故障などの原因となります。

自賠責保険に必ず加入

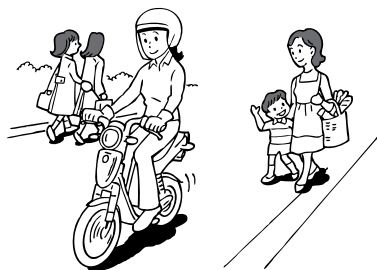
自賠責保険（共済）に加入することは法令で定められています。万一の事態に備えて必ず加入してください。

また、保険の期限切れにも注意してください。



歩行者と他の車のために 他の人への思いやり

- 交通ルールを守り、まわりの歩行者や車の動きに注意し、相手の立場について思いやりの気持ちをもって通行しましょう。
- 周囲の状況に注意して、安全なスピードで走行してください。また、歩行者や自転車のそばを通るときは、安全な距離を保つか徐行してください。

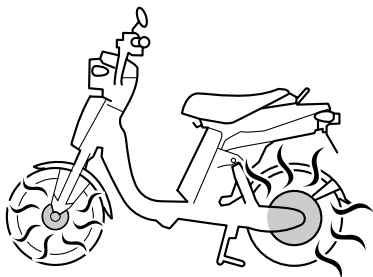


駐車

- 盗難予防のため、車から離れるときは必ずハンドルロックをかけ、キーをお持ちください。また、チェーンロックなどのサイクルロックも同時に使用することをおすすめします。
- 交通のじゃまにならない場所に駐車してください。

JAU49970

- 平坦な場所に駐車してください。やむをえず、傾斜地や柔らかい地面などの不安定な場所に駐車するときは、転倒や動き出しのないようにしてください。
- 車から離れる前に、メインスタンドが確実にセットされているかを確認してください。



JWA15680

警告

走行直後はモーターやブレーキ関係の部品に直接触れないでください。高温になって、ヤケドするおそれがあります。

昼間はヘッドライトを下向きに

EC-03 は自動昼間点灯仕様です。他の車や歩行者へ注意をうながし、自分の存在を知らせるためです。対向車がまぶしくないように、ライトは下向きを使ってください。

環境との調和のために 違法改造はしない

違法改造は法律により禁止されています。改造は操縦安定性を悪くしたり、車の寿命を縮めたり、重大な事故や故障の原因となります。また、改造すると車の保証が受けられません。

環境への配慮

廃車をするときや、寿命がきてバッテリーの交換が必要になったときは、環境保護のためお買い上げの販売店にご相談ください。

安全運転のために

1

交換部品

アクセサリや交換部品は純正部品を使用する

JAU50310

JWA15550



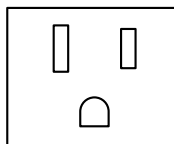
警告

タイヤなどの消耗品やアクセサリなどの部品は、販売店にご相談のうえ、必ず純正部品を取り付けてください。それ以外の市販品を使用しますと、事故によるケガや故障の原因になることがあります。また、保証の適用が受けられない場合があります。

JAU50720

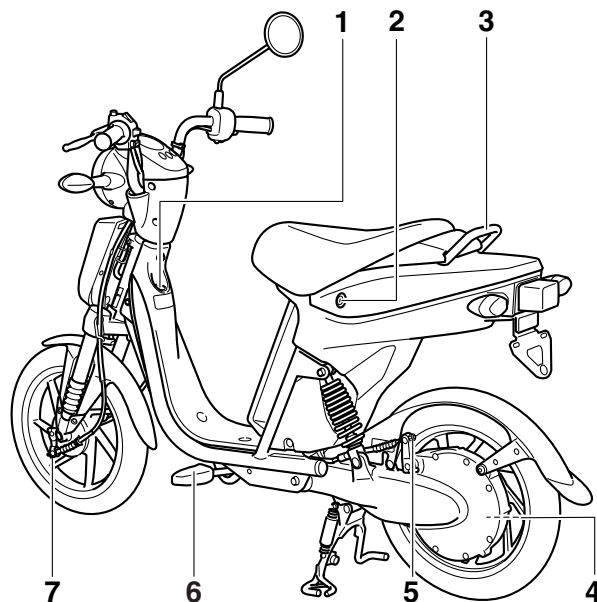
安全に充電していただくために

- 雨や水などが当たらない場所で充電してください。感電やショートにつながるおそれがあります。
- 漏電遮断器に接続されたアース付きコンセントに充電プラグを接続して充電してください。正しくアースされていないと、感電やショートにつながるおそれがあります。



- 転倒や事故などにより車両が変形している場合は、充電プラグをコンセントに差し込まないでください。感電やショートにつながるおそれがあります。
- 充電コードや充電プラグに変形や傷付きがあるときは、充電プラグをコンセントに差し込まないでください。感電やショートにつながるおそれがあります。

左側面



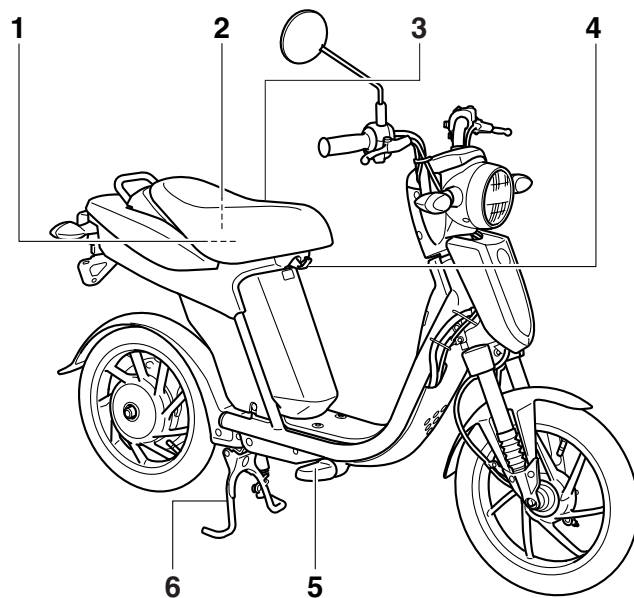
1. メインスイッチ / ハンドルロック (P4-2)
2. シートロック (P4-11)
3. スタンディングハンドル (P4-13)
4. モーター
5. リヤブレーキアジャスター (P8-4)
6. フットレスト
7. フロントブレーキアジャスター (P8-4)

各部の名称

JAU10420

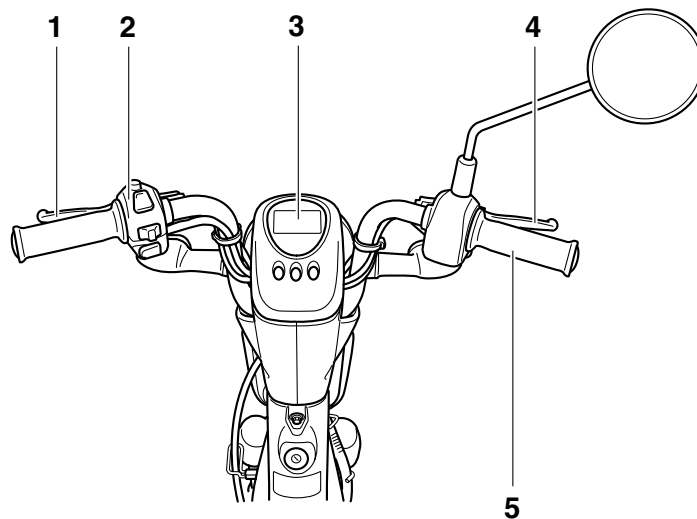
右側面

2



- 1. 書類入れ (P4-12)
- 2. 充電コード (P6-3)
- 3. シート (P4-11)
- 4. コンビニフック (P4-12)
- 5. フットレスト
- 6. メインスタンド

運転装置と計器類



1. リヤブレーキレバー (P8-4)
2. ハンドルスイッチ (P4-10)
3. マルチファンクションメーター (P4-3)
4. フロントブレーキレバー (P8-4)
5. スロットルグリップ (P7-4)

EC-03 の特徴

JAU50470

JAU50320

主な特徴について

EC-03 は、以下の特徴があります。

- 走行に必要なエネルギーは電気のみを使用し、燃料の補給やエンジンオイルの交換を必要としません。
- 高性能モーターの採用により、走行中の騒音・振動を大幅に抑えるとともに快適な走行が楽しめます。
- 家庭用の漏電遮断器に接続されたアース付きコンセント（AC 100V）から充電することができます。

パワーモード／標準モード

EC-03 は、走行条件（道路状況など）に応じて、モーターの駆動力を選択することができます。

通常は「標準モード」で、坂の多い道などでは、楽に走れる「パワーモード」で走行するなど、上手なモードの切り替えで快適な走行が楽しめます。

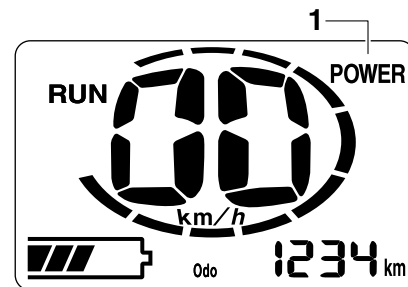
モードの切り替えかた

「パワーモード」、「標準モード」の切り替えは、1 ボタン“POWER”で行います。



POWER

1 ボタン“POWER”を押すとパワーモードと標準モードが切り替わります。



1. パワーモード表示“POWER”

パワーモード表示“POWER”が表示されているときは、パワーモードに設定されています。パワーモード表示“POWER”が表示されていないときは、標準モードに設定されています。

要 点

メインスイッチを OFF にしても、設定したモードは記憶されています。

モードの上手な選びかた

表を参考にしながら、走行条件に応じてモードを選んでください。標準モードで走行すると、バッテリーの消費が少ないため、1回の充電で走行できる距離が伸びます。

JAU50330

走行距離の目安

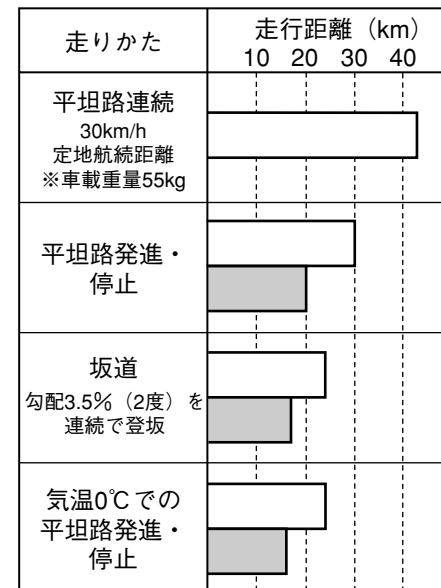
要 点

1回の充電で走行できる距離は、以下のよう
な走りかたや道路状況などにより異なります。

発進・停止の回数、車載重量、坂の勾配、路面の状態、風向き、風速、気温、充電状態、バッテリーの性能低下、タイヤの空気圧低下など。

一充電あたりの走行距離

 標準モード
 パワーモード



*最大登坂能力は約16% (約9度) です。

モード	パワー*	標準
適用状況	発進	○
	平地	○
	上り坂	△
	下り坂	○

○：効果的な走行ができる、おすすめモードです。

△：パワーモードに比べ走行性が劣ります。

*：標準モードに比べ走行距離が短くなります。

EC-03 の特徴

3

- バッテリー新品、常温 25℃、車載重量（乗員および荷物を合計した重量）75kg、平滑乾燥路面、無風状態で走行したときの弊社データ
- パワーモードで常時走行すると、標準モードで走行した場合より、走行できる距離が短くなります。
- バッテリーの特性上、気温の変化（バッテリー温度の変化）により、走行できる距離が短くなる場合があります。
- 車載重量が 10kg 増加すると、走行できる距離が 5 ～ 10% 短くなります。

JAU50340

バッテリーの上手な使いかた

バッテリーは、満充電に近い状態（5 ～ 4 灯）で高温の場所に長時間置かれると劣化が進みます。バッテリーの寿命を延ばすため、以下のような取り扱いをおすすめします。

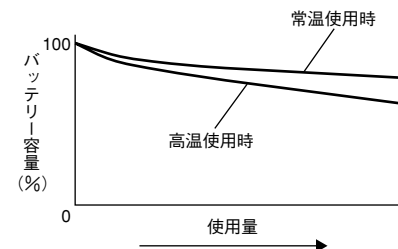
- 充電をするときは、直射日光が当たらない、涼しい場所を選んで充電してください。
- バッテリーの残量が 20%以下（バッテリーの残量表示が 1 灯以下）の状態、長期間保管しないでください。
- 車両を保管するときは、直射日光が当たらず、風通しの良い涼しい場所を選んで保管してください。
- 長期間使用しないときは、バッテリーの残量表示が 2 ～ 3 灯の状態にして、涼しい場所（最適温度 15℃ ～ 25℃）に保管してください。もし、保管中に残量表示が 1 灯になったら、2 ～ 3 灯まで充電してください。

JCA17070

注意

バッテリーの電圧が極端に低くなるまで放電してしまうと、充電ができなくなり、バッテリーが使用できなくなります。

バッテリー劣化のイメージ



JAU50350

バッテリー残量の目安

要 点

使用する前に必ず確認してください。

バッテリー残量の確認のしかた

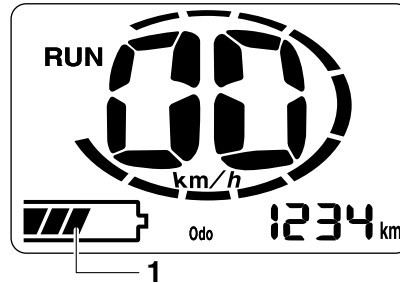
メーター内バッテリー残量表示灯で確認します。

要 点

充電中は充電の進行状態を表示します。このときは、使用中の残量表示とは異なります。
(6-11 ページ「充電の進行状態の表示」参照)

メーター内バッテリー残量表示灯の見かた

メインスイッチを ON にすると、メーター内バッテリー残量表示灯は数秒間全セグメントを点灯し、その後バッテリーの放電量に応じて残量の目安を表示します。



1. バッテリー残量表示灯

EC-03 の特徴

バッテリー残量の目安



バッテリー残量 (%)	メーター内バッテリー残量表示灯	状態
80～100		走行可能です。
60～80		
60		走行可能です。 バッテリー残量が半分強になったことを4灯目のセグメントの点滅で知らせます。
40～60		走行可能です。
20～40		
10～20		登坂力などが低下します。 充電してください。
0～10		バッテリー残量が約10%になったことを1灯目のセグメントの点滅とお知らせ音で知らせます。 早めに走行するのを止めて、充電してください。
0	※	バッテリー残量がなく、走行不可能です。充電してください。
		※電池の状態によっては表示されない場合があります。

3

JAU49980

おしらせ音について

EC-03 は、以下の車両操作や動作をおしらせ音で知らせます。

- メインスイッチ ON
- 始動待ち（7-1 ページ参照）
- 操作ボタンプッシュ
- 暗証ロック解除 OK
- 暗証ロック解除 NG
- 走行可能状態（4-6 ページ参照）
- 方向指示灯使用
- バッテリー残量約 10%（3-5 ページ参照）
- 充電開始時

JAU31081

キーの取り扱い

- キーは車の操作や保管をするときに使用する大切なものです。キーを紛失しないように、充分に注意してください。
- キーは 2 本付属しています。1 本は予備として大切に保管してください。
- 1 本のキーを紛失または破損したときは、販売店またはキーショップなどで新しい予備キーを作っておいてください。
- キーを 2 本とも紛失または破損したときは、販売店にご相談ください。



JCA12501

注意

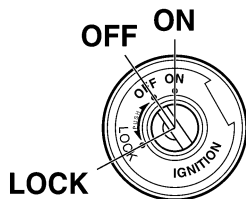
金属製のキーホルダーは使用しないでください。また、リングなどに複数のキーをつないで使用しないでください。走行中にキーホルダーや他のキーがカバーなどの部品に当

たり、傷付きの原因となる場合があります。キーホルダーは、布製または皮製のものをお勧めします。

各部の取り扱いと操作

JAU49990

メインスイッチ



4

メインスイッチは、ヘッドライト、ブレーキランプや方向指示灯などの電源の「入 / 切」、ハンドルロックを行います。

JWA11450



警告

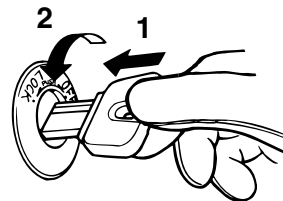
走行中にメインスイッチをOFFやLOCKの位置にすると、電気系統の作動が停止し、事故につながるおそれがあります。メインスイッチは必ず停止中に操作してください。

要 点

盗難予防のため、車から離れるときは必ずハンドルロックをかけ、キーをお持ちください。

JAU50000

ハンドルロックのしかた



1. 押す
2. 回す

1. ハンドルを左へいっぱいに切ります。
2. OFFの位置でキーを押し込み、そのままLOCKまで回します。

要 点

ロックしにくいときは、ハンドルを軽く左右に動かしながらキーを回します。

3. キーを抜きます。

JAU50010

JAU10683

ON

全ての電気回路に電源が供給されます。全てのメーター表示部を数秒間表示し、ヘッドライト、テールランプとメーター灯が点灯します。キーを抜き取ることはできません。

要 点

EC-03 にはバッテリー保護のため、オートパワーオフ機能が装備されています。停止したまま5分以上経過すると電源がOFFになります。5分以上停止してから再発進する場合は、一旦メインスイッチをOFFにしてから再度メインスイッチをONにして発進の準備をしてください。

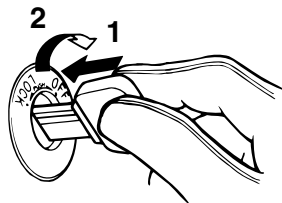
OFF

全ての電気回路がオフになります。キーを抜くことができます。

LOCK

ハンドルがロックされ、全ての電気回路がオフになります。キーを抜くことができます。

ハンドルロックの解除のしかた



1. 押す
2. 回す

LOCK の位置でキーを押しこみ、そのまま OFF まで回します。

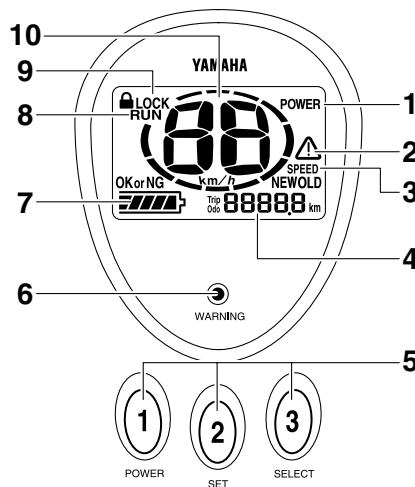
JWA11450

警告

走行中にメインスイッチを OFF や LOCK の位置にすると、電気系統の作動が停止し、事故につながるおそれがあります。メインスイッチは必ず停止中に操作してください。

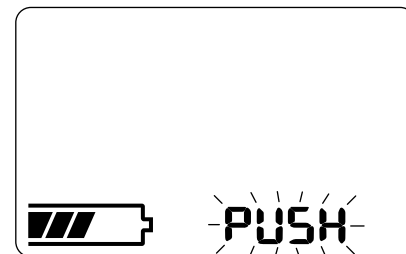
マルチファンクションメーター

JAU50020



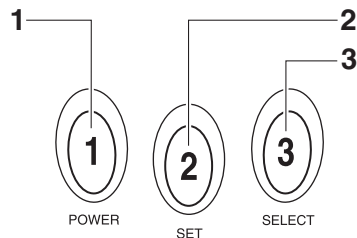
1. パワーモード表示 “POWER”
2. 警告マーク表示 “”
3. 速度警告表示 “SPEED”
4. トリップメーター／オドメーター／
温度警告表示 “HEAT” ／ “COOL”
5. 操作ボタン “POWER” ／ “SET” ／
“SELECT”
6. 警告灯
7. バッテリー残量表示灯
8. 走行可能状態表示 “RUN”
9. 暗証ロック表示 “ LOCK”
10. スピードメーター

EC-03 にはコントロールユニットなどの自己診断機能が装備されています。メインスイッチを ON にすると自己診断を行い、メーターが全て点灯します。自己診断終了後、自動的に始動待ちモードになります。始動待ちモードになると “PUSH” が点滅します。



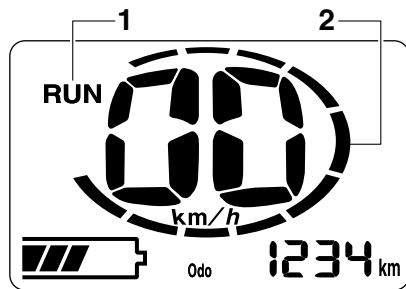
“PUSH” が点滅しているとき、1 ボタン “POWER”、2 ボタン “SET”、3 ボタン “SELECT” のいずれかを押すと始動待ちモードが解除され、走行モードになります。

各部の取り扱いと操作



1. ボタン“POWER”
2. ボタン“SET”
3. ボタン“SELECT”

走行モードになると、走行可能状態表示“RUN”を点灯、サークル（回転する楕円表示）を表示します。



1. 走行可能状態表示“RUN”
2. サークル（回転する楕円表示）を表示

要 点

走行モードになると、おしらせ音が鳴ります。このおしらせ音は、ブレーキレバーを握るか走行すると鳴りやみます。

操作ボタン

1 ボタン“POWER”、2 ボタン“SET”、3 ボタン“SELECT”があり、以下の機能があります。

- 始動待ちモードの解除
- パワーモード／標準モードの切り替え
- オドメーター／トリップメーターの切り替え
- トリップメーターのリセット
- 暗証番号の登録／変更
- 暗証ロックのセットと解除

警告

ボタンの操作は、必ず停車中に行ってください。

スピードメーター

車の速度を数字で示します。

トリップメーター／オドメーター

走行距離を表示します。メインスイッチをOFFにしても設定は記憶されています。

トリップメーター“Trip”

以前リセットしたときからの走行距離を積算します。

トリップメーター表示中に 3 ボタン“SELECT”を数秒間長押しすると、走行距離がリセットされてトリップメーターの表示が“0.0”になります。

3 ボタン“SELECT”を短押し（1秒以内）すると、オドメーターに切り替わります。

オドメーター“Odo”

走行した総距離を km の単位で示します。定期点検整備の目安にもなります。

3 ボタン“SELECT”を短押し（1秒以内）すると、トリップメーターに切り替わります。

温度警告表示“HEAT”／“COOL”

EC-03 は、バッテリーやコントローラーの保護のため温度保護機能を装備しています。温度異常を検出したときは、トリップメーター／オドメーターの表示を中止して次のように表示します。

- バッテリーやコントローラーの温度が規定温度以上になると“HEAT”が点滅します。
- バッテリーの温度が規定温度以下になると“COOL”が点滅します。

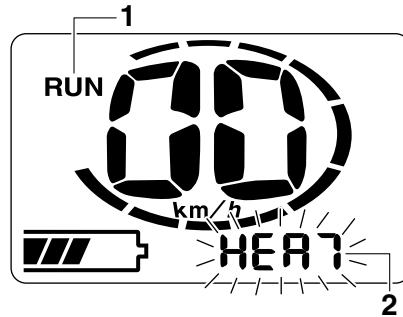
要 点

- バッテリー温度が規定温度以上になると“HEAT”を点滅し、放電電流を制限するため駆動力が低下しますが故障ではありません。
- バッテリー温度が規定温度以下になると“COOL”を点滅し、放電電流を制限するため駆動力が低下しますが故障ではありません。
- 夏季の気温が高いときに長時間走行すると“HEAT”が点滅し、走行スピードが遅くなることがあります。
- 夏季に直射日光の当たる暑い場所に車両を放置した後に走行すると、“HEAT”が点滅し、走行スピードが遅くなることがあります。
- 冬季の氷点下など気温が低い場所に車両を放置した後に走行すると、“COOL”が点滅し、走行スピードが遅くなることがあります。
- バッテリー残量が 2 灯以下になっているときには、より高い温度で“COOL”が点滅し、走行スピードが遅くなることがあります。
- 長い登り坂を走行すると“HEAT”が点滅し、走行スピードが遅くなることがあります。

す。

- 長い登り坂を走行するとコントローラーの温度が上がり、“HEAT”が点滅することがあります。続けて登り坂を走行するとコントローラー保護のため走行可能状態表示“RUN”が消灯し、走行できなくなることがありますが故障ではありません。

走行可能状態表示“RUN”が表示されているときは走行できますが、バッテリー温度により放電電流が制限されている場合は、スピードが遅く感じる場合があります。

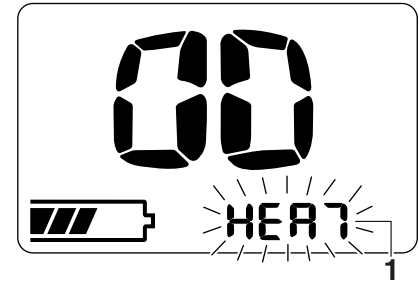


1. 走行可能状態表示“RUN”
2. “HEAT”表示

特にバッテリー残量表示灯が 2 灯以下のとき、バッテリー温度により放電電流が制限されている場合は、駆動力が大きく下がります

が故障ではありません。

走行可能状態表示“RUN”が点灯したままバッテリーやコントローラーの温度が規定温度になると、温度警告表示“HEAT”／“COOL”が自動的に解除され、トリップメーター／オドメーターが再び表示されます。走行可能状態表示“RUN”が消灯しているときは走行できません。



1. “HEAT”表示

メインスイッチをOFFにして、しばらく待ってから使用してください。

要 点

走行可能状態表示“RUN”が消灯して走行が停止した場合は、規定温度になった後、メインスイッチを一旦OFFにしてからONにしないと、温度警告表示“HEAT”／

各部の取り扱いと操作

“COOL” が解除されます。

JWA15630

⚠ 警告

- EC-03 を押しして移動する場合は、メインスイッチを OFF にしてください。
- 押しして移動するとき、歩道のある場所では歩道を通行してください。

速度警告表示 “SPEED”

車の速度が法定最高速度 (30km/h) 以上になると、点灯表示します。同時に警告灯が点滅します。

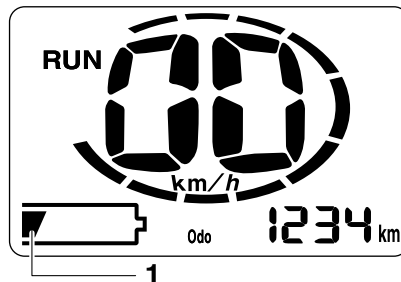
走行可能状態表示 “RUN”

走行可能なときは “RUN” とサークル（回転する楕円表示）を表示します。

バッテリー残量表示灯

バッテリーの残量を示します。

1 セグメント点灯になったら、早めに充電してください。(バッテリー残量の目安は、3-4 ページ参照)

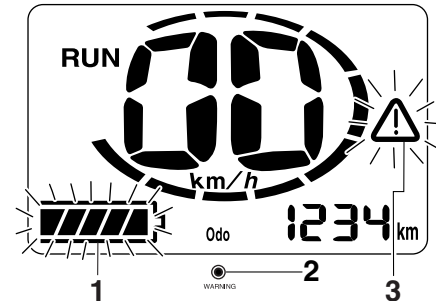


1. バッテリー残量表示灯

要 点

走行前にはバッテリー残量が充分かを必ず確認してください。

バッテリーの異常を検出するとバッテリー残量を表示できなくなり、警告灯が点灯し、警告マーク表示 “⚠” とバッテリー残量表示灯の全セグメントが点滅します。また、バッテリーの異常を検出すると、バッテリーからの放電に制限がかかることがあります。



1. バッテリー残量表示灯
2. 警告灯
3. 警告マーク表示 “⚠”

走行できますが、早めにヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

パワーモード表示 “POWER”

パワーモードに設定されているとき、“POWER” を表示します。(パワーモード／標準モードの切り替えは、3-1 ページ「モードの切り替えかた」を参照)

警告灯

警告灯は、以下の表示にあわせて点滅または点灯します。

速度警告表示

車の速度が30km/hを超えると点滅します。同時に速度警告表示 “SPEED” が点灯します。

異常警告表示

異常を検出すると点灯します。

点灯したときはメーターの警告表示を確認してください。

メーターに“”が表示されたときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

警告マーク表示 “”

異常を検出すると点滅します。メインスイッチを一旦 OFF にしてから ON にしなおしても消灯しない場合は、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

要 点

メインスイッチを ON にすると数秒間点灯しますが、その後消灯すれば異常ではありません。

JAU50030

暗証ロックの使いかた

EC-03 は、暗証番号を登録して暗証ロックを使うことができます。暗証ロックがセットされていると、メインスイッチを ON にしても正しい暗証番号を入力しないと発進できません。

暗証番号の登録／変更のしかた

JWA15610



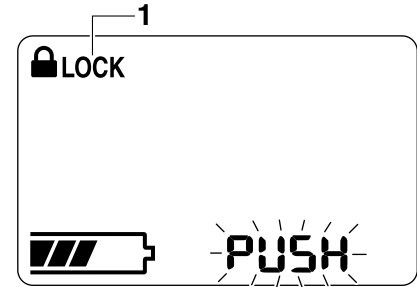
暗証番号の変更／登録は、安全な場所に車を停めて行ってください。

要 点

暗証番号の登録／変更中に 1 分以上操作を中断すると、暗証番号の登録／変更モードが解除されます。もう一度やり直してください。

1. メインスイッチを ON にします。

メーターが数秒間全て点灯した後、始動待ちモードになります。



1. 暗証ロック表示 “ LOCK”

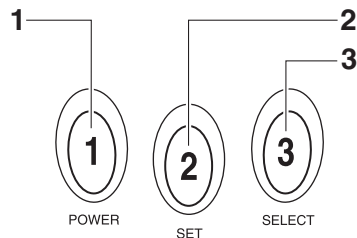
要 点

暗証ロックがセットされていると、始動待ちモードのときに暗証ロック表示 “ LOCK” が点灯します。

2.1 ボタン “POWER”、2 ボタン “SET”、3 ボタン “SELECT” のいずれかを押し、始動待ちモードを解除します。

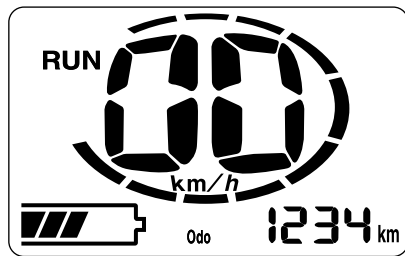
各部の取り扱いと操作

4



1. 1 ボタン “POWER”
2. 2 ボタン “SET”
3. 3 ボタン “SELECT”

走行モードになります。



要 点

- 暗証ロックがセットされているときは、始動待ちモードを解除した後、暗証番号を入力して暗証ロックを解除します。暗証ロ

クの解除は、7-1 ページ「発進の準備」を参照してください。

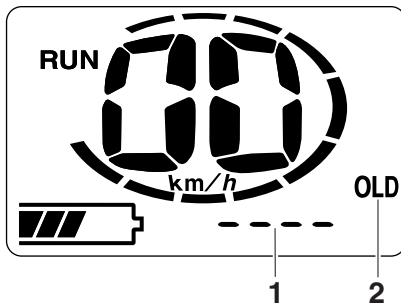
- 走行モードになると、おしらせ音が鳴ります。このおしらせ音は、ブレーキレバーを握るか走行すると鳴りやみます。

3. 2 ボタン “SET”、3 ボタン “SELECT” を同時に押します。

暗証番号登録モードになります。

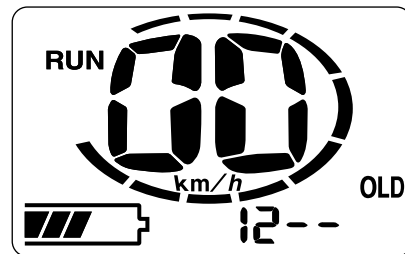
はじめて暗証番号を登録するとき
手順 5 に進んでください。

登録されている暗証番号を変更するとき
“OLD” と “----” が表示されます。



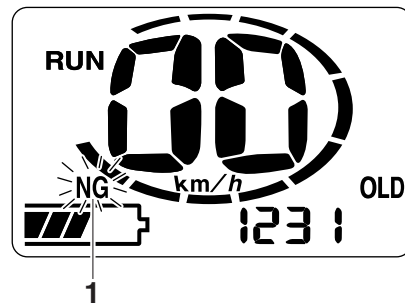
1. “----” 表示
2. “OLD” 表示
4. 登録されている暗証番号を入力します。
1 ボタン “POWER”、2 ボタン “SET”、

3 ボタン “SELECT” で入力します。



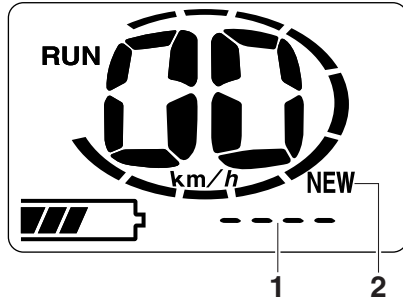
正しい暗証番号を入力すると、手順 5 に進みます。

暗証番号を間違えると、おしらせ音が鳴り “NG” が数秒間点滅して、走行モードに戻ります。もう一度手順 3 からやり直してください。



1. “NG” 表示

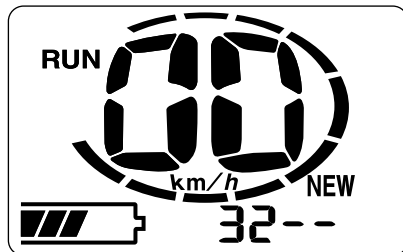
5. “NEW” と “----” が表示されます。



1. “----” 表示
2. “NEW” 表示

新しい暗証番号を入力します。

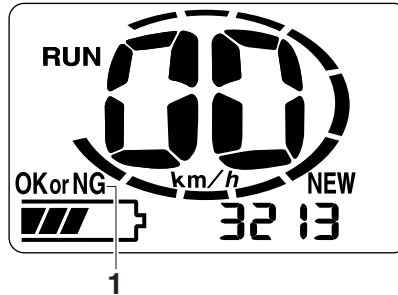
暗証番号は 1、2、3 の数字を組み合わせた 4 桁です。1 ボタン “POWER”、2 ボタン “SET”、3 ボタン “SELECT” で入力します。



要 点

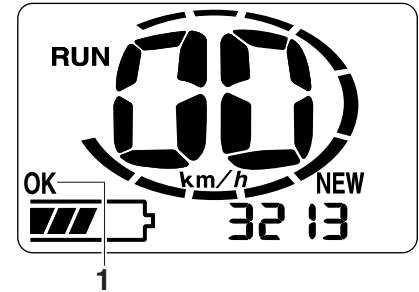
「1111」は登録できません。

4 桁の暗証番号を入力すると “OK” or “NG” が表示されます。



1. “OK” or “NG” 表示

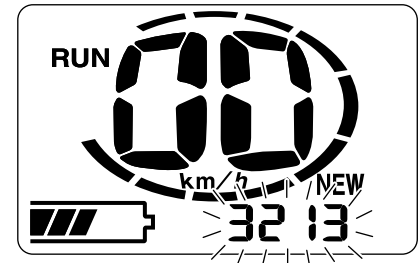
6.3 ボタン “SELECT” を押すと “OK” が表示されます。



1. “OK” 表示

7.2 ボタン “SET” を押します。

暗証番号が数秒間点滅し、走行モードになります。



要 点

- 暗証番号は必ずメモし、大切に保管してください。

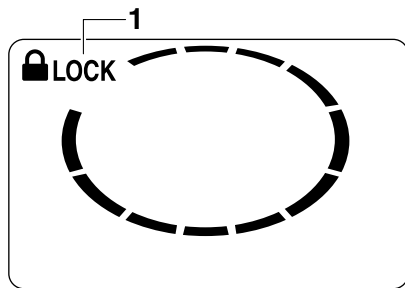
各部の取り扱いと操作

- 3 ボタン “SELECT” を押すたびに “OK” と “NG” が切り替わります。
- 入力した番号を変えたいときは “NG” を表示させ、2 ボタン “SET” を押すことで、手順 5 に戻ってやり直すことができます。

暗証ロックのセット／解除のしかた

暗証ロックのセット

停車中に 2 ボタン “SET” を数秒間押し続けます。暗証ロックがセットされるとメーターが暗証ロック表示 “ LOCK” を表示します。



1. 暗証ロック表示 “ LOCK”

要 点

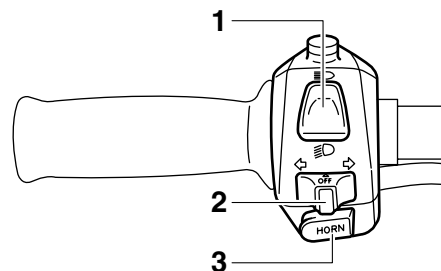
ヤマハ販売店に点検・整備や修理を依頼するときは、暗証ロックをセットしないでくださ

い。

暗証ロックの解除

始動待ちモードを解除した後、暗証番号を入力します。(7-1 ページ「発進の準備」参照)

ハンドルスイッチ



1. ヘッドライト上下切り替えスイッチ “ / ”
2. 方向指示器スイッチ “ / ”
3. ホーンスイッチ “HORN”

ヘッドライト上下切り替えスイッチ “ / ”

ヘッドライトの配光を上向き、下向きに切り替えるスイッチです。スイッチは確実に切り替えてください。

(上向き)：遠くを照らします。

(下向き)：近くを照らします。

注 意

ヘッドライトのスイッチは、必ず「カチッ」と音がするまで操作して上下を切り替えて

JAU40660

JAU50550

JCA17080

ください。途中でスイッチを停止させた状態で使用すると、電球が切れるおそれがあります。

要 点

先行車や対向車があるときは、ヘッドライトを下向き“ $\searrow$ ”にしてください。

JAU50040

方向指示器スイッチ“ $\swarrow \searrow$ ”

進路変更の合図に使用します。

操作は、進路変更する側にスイッチをスライドさせます。

消灯するときは、スイッチを押します。

$\searrow$ ：右側の方向指示灯が点滅します。

$\swarrow$ ：左側の方向指示灯が点滅します。

要 点

方向指示器を使用すると、おしらせ音が鳴ります。

JWA11640

⚠ 警 告

方向指示灯は自動的に消灯しません。使用後は、必ず消灯してください。点滅したままにしておくと、他のかたの迷惑になります。

方向指示灯が速く点滅しているときは、方向指示灯の電球が切れています。電球を交換し

てください。

JCA11981

注 意

電球を交換するときは、正規のワット数のものを使用してください。正規のワット数以外のものを使用すると、正常に作動しません。

JAU12510

ホーンスイッチ“HORN”

スイッチを押すとホーンが鳴ります。

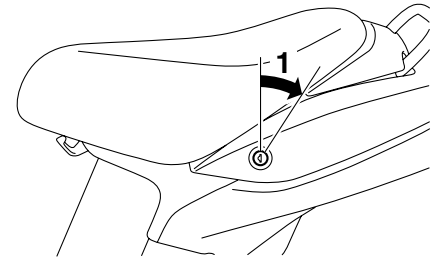
要 点

必要なときにのみ使用してください。

シートの開閉

シートの開けかた

1. メインスタンドを立てます。
2. キーをシートロックに差し込み、時計方向に回してロックを解除します。



1. 解除

3. シート後部を持ち上げて開きます。

シートの閉めかた

シートを手で下ろし、シート後部を押さえてロックします。

要 点

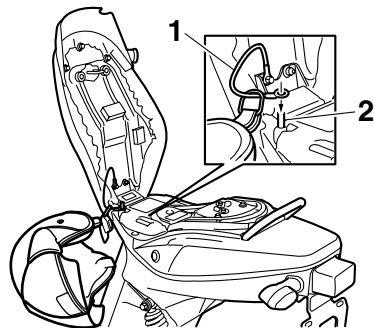
- 走行前に、必ずシートが確実にロックされているか確認してください。
- キーをシートの下に置いたまま閉じると、ロックされてキーが取り出せなくなります。注意してください。

各部の取り扱いと操作

JAU50060

ヘルメットホルダー

シートを開けるとヘルメットホルダーがあります。ワイヤーをヘルメットのあごひもの金具部分に通してピンに掛け、シートをロックします。



1. ワイヤー
2. ピン

JWA11650



警告

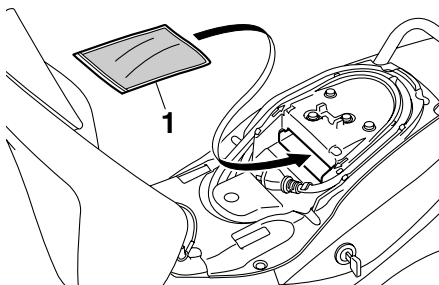
ヘルメットをヘルメットホルダーに掛けたまま走行しないでください。ヘルメットが運転を妨げ、思わぬ事故の原因になったり、車の部品に損傷を与えたり、またヘルメットにも損傷を与え保護機能を低下させます。

JAU50070

書類入れ

シートを開けると充電コードを巻きつける部分に書類入れがあります。

メンテナンスノートは二つ折りにし、自賠責保険証とともにポーチに入れて保管してください。

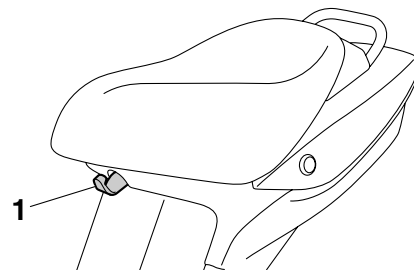


1. ポーチ

JAU28560

コンビニフック

手さげ袋などをこのフックに掛けます。



1. コンビニフック

JWA11680



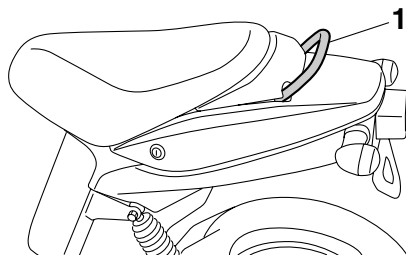
警告

コンビニフックに掛けられる荷物は、1kg までです。

JAU29910

スタンディングハンドル

メインスタンドを立てるときに右手で持ちます。



1. スタンディングハンドル

日常点検の実施

車を安全で快適に使用いただくため、道路運送車両法で日常点検を行うことが義務づけられています。

運転する前に必ず実施してください。

JWA12031

⚠ 警告

- 日常点検を怠ると重大な事故やケガ、トラブルの原因となります。必ず実施してください。
- 異常が認められたときは、乗車前にご使用のかたご自身またはヤマハ販売店で必ず整備を行ってください。

要 点

点検整備に使用する工具は、必要に応じてお買い求めください。(モデルにより、車載工具の有無や内容が異なります。)

日常点検箇所／点検内容

詳しい点検の方法は、8-1 ページ以降の点検整備の方法および別冊「メンテナンスノート」を参照してください。

点検箇所	点検内容
ブレーキ	● ブレーキレバーの握りしろが適切で、ブレーキのききが充分であること。
タイヤ	● タイヤの空気圧が適切であること。 ● 亀裂、損傷がないこと。 ● 異常な摩耗がないこと。 ● 溝の深さが充分あること。(※)
モーター	● モーターに異音がないこと。(※) ● 低速、加速の状態が適当であること。(※)
灯火装置および方向指示灯	● 点灯または点滅具合が良好で、かつ、汚れや損傷がないこと。
運行において異常が認められた箇所	● 当該箇所に異常がないこと。

(注)

※印の点検は車の走行距離、運行時の状態などから判断した適切な時期(長距離走行時や洗車など)に実施をしてください。

⚠ 警告

安全のため、ご自身の知識、技量にあわせて範囲内で点検・整備を行ってください。難しいと思われる内容はヤマハ販売店にご依頼ください。点検・整備するときは安全に充分注意し、下記の内容を守ってください。

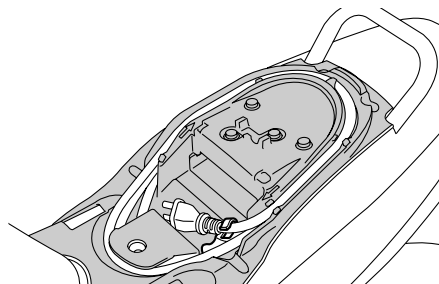
- 点検・整備をするときは、充電プラグをコンセントに差し込まないでください。感電やショートにつながる場合があります。
- 点検は平坦で足場のしっかりした場所を選び、メインスタンドを立てて行ってください。
- 走行直後は、モーターなどが熱くなっています。直接触れたりしないでください。ヤケドに注意してください。
- 走行して点検するときは、周囲の交通事情に充分注意してください。
- 異常が認められたときは、乗車前にご使用のかたご自身またはヤマハ販売店で必ず整備を行ってください。

JAU50560

JWA15760

⚠ 警告

- 転倒や事故などにより車両が変形している場合は、充電プラグをコンセントに差し込まないでください。感電やショートにつながるおそれがあります。充電する前に、必ずヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。
- 雨などが当たらない場所で充電してください。感電やショートにつながるおそれがあります。
- 漏電遮断器に接続されたアース付きコンセントに充電プラグを接続して充電してください。正しくアースされていないと、感電やショートにつながるおそれがあります。
- シート下の樹脂カバーを外してバッテリーや車載充電器を整備しないでください。感電やショートにつながるおそれがあります。不具合がある場合は、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。



JAU50380

充電する場所

充電時間は充電環境に左右されます。また、充電環境が悪いとバッテリーや車載充電器の故障の原因となります。下記の諸条件を満たす場所を選んで充電してください。

- 平坦で車両の安定がよいところ。
- 車両と充電コード、充電プラグが雨や水に濡れないところ。
- 直射日光が当たらない、涼しいところ。
- 風通しがよく、湿気のないところ。
- 幼児やペットなどが車両や充電コード、充電プラグにいたずらをしないところ。
- 充電中の環境温度が $-5^{\circ}\text{C} \sim 50^{\circ}\text{C}$ の範囲内の場所。（ $15^{\circ}\text{C} \sim 25^{\circ}\text{C}$ を推奨）
- 充電コードをはさんだり、踏んだり、引っ張ったりするおそれのないところ。

充電おすすめ場所の参考例

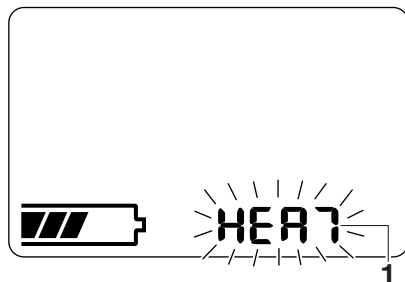
要 点

- 充電に最適な環境温度は約 $15^{\circ}\text{C} \sim 25^{\circ}\text{C}$ です。バッテリー温度が $-5^{\circ}\text{C} \sim 50^{\circ}\text{C}$ の範囲なら充電可能ですが、走行直後のバッテリーは、この温度範囲外にある場合があります。このとき、バッテリーや車載充電器の温度が適正温度になるまで充電待ちの状態（メーターに“HEAT”が点滅）に

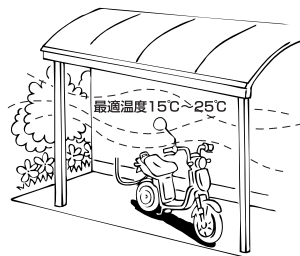
バッテリーの充電

なります。

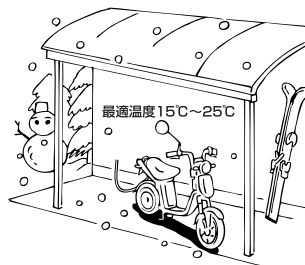
- -5°C 以下では“COOL”が点滅し、充電待ちの状態になります。
- バッテリーが劣化してくると、氷点下での充電ができなくなります。劣化したバッテリーでは $0^{\circ}\text{C} \sim 50^{\circ}\text{C}$ が充電可能な温度範囲になります。



1. “HEAT”表示

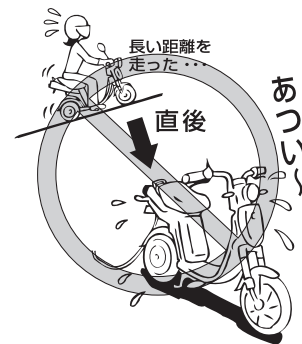
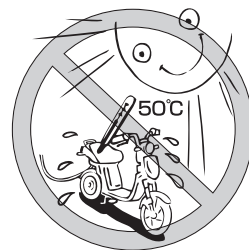


- 日陰で涼しく、風通しのよい場所



- 夜間でも -5°C 以下にならない場所

充電に適さない場所、充電方法



- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くでの充電
- 長い距離を走行した直後の充電
充電途中でバッテリーが規定の温度を越えたときはバッテリー保護のために自動的に充電を中止しますので、充電不足になる場合があります。また、バッテリーの劣化にも影

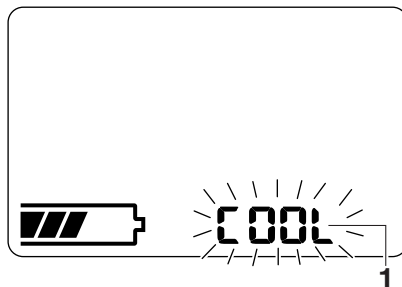
響しますので、充電はできるだけ涼しい場所で行ってください。



● 冬の屋外、または物置などの寒い場所での充電

充電前には適正温度範囲内であっても深夜の冷え込みなどにより途中で -5°C 以下になるとバッテリー保護のために自動的に充電待ちとなり、メーターに“COOL”が点滅して知らせます。このようなときは、あたたかな場所でもう一度充電をしておいてください。充電中の“HEAT” / “COOL”表示は、約 5 分後に消灯します。

なお、充電待ちが長時間続くと自動的に充電を中止しますので、充電不足になる場合があります。



1. “COOL”表示

充電のしかた

⚠ 警告

- 植え込み型心臓ペースメーカー、植え込み型除細動器、その他の医療用電気機器を使用している方は、医師や医療用電気機器製造業者などに充電による影響の有無を確認してから充電を行ってください。充電が医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。
- 充電前に、ほこり、ゴミ、土、油、水などが充電プラグに付着していないことを確認し、付着していた場合は乾いた布でふきとってください。
- いつもと違う臭いがしたり、車体から煙が出ているときは、すぐに充電を中止してください。
- 周囲が囲まれた換気の悪い場所で充電しないでください。
- 幼児や、ペットなどの動物がいたずらするところでは充電しないでください。予想外の行動により、危害を受けたり火災になるおそれがあります。
- シートを開けたまま雨の中に放置しないでください。バッテリーや車載充電器を故障させるおそれがあります。また、感電や

バッテリーの充電

6

- ショートにつながる場合があります。故障した場合は、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。
- ガソリンなどの引火物の周辺で充電しないでください。火災の原因となります。
 - 充電は平坦な足場のしっかりした場所を選び、メインスタンドを立てて行ってください。
 - 充電プラグ、充電コード、漏電遮断器に接続されたアース付きコンセントに損傷、腐食、サビなどがあるとき、または接続部にゆるみがあるときは充電を行わないでください。火災、感電、ショートの原因となります。
 - 感電など充電中の事故を防ぐため、以下の内容を守ってください。
 - ・ 漏電遮断器に接続されたアース付きコンセントを使用して充電してください。
 - ・ 雨や水に濡れるところでは充電しないでください。
 - ・ 充電プラグに、ほこり、ゴミ、土、油、水などが付着しないようにしてください。
 - ・ 充電コードや充電プラグに変形や傷付きがあるときは、充電をしないでください。
 - ・ 充電コードや充電プラグが濡れているときは、乾いた布でふきとってください。
 - ・ 充電コードや充電プラグを改造しないでください。
 - ・ ボディーカバーをかけた状態で充電しないでください。
 - ・ 濡れた手で充電プラグの抜き差しをしないでください。
 - ・ 落雷のおそれがある場合は、充電をしないでください。
 - 充電コードや充電プラグを使用するときは安全に充分注意し、以下の内容を守ってください。充電コードや充電プラグの損傷が火災、感電、ショートの原因となります。
 - ・ 充電コードや充電プラグの損傷を防ぐため、車体の転倒に気をつけてください。
 - ・ 充電中に充電コードを足でひっかけないでください。
 - ・ 充電コードや充電プラグを車体などで踏まないでください。
 - ・ 充電コードや充電プラグを収納せず走行し、引きずらないでください。
 - ・ 充電コードや充電プラグをドアやサッシなどで、はさまないでください。
 - ・ 充電コードや充電プラグをシートで、はさまないでください。
 - ・ 充電コードを引っ張ったり、結んだり、強い力を加えたりしないでください。
 - ・ 充電コードをねじらないでください。
 - ・ 充電コードや充電プラグの上に物を載せないでください。
 - ・ 充電コードや充電プラグは、硬いものや重いもので踏まないでください。
 - ・ 充電コードを束ねたり、小さく丸めたりしないでください。
 - ・ 充電コードや充電プラグを傷つけたり、加工するなどしないでください。
 - ・ 充電コードを無理に曲げないでください。
 - ・ 充電コードや充電プラグを釘などの鋭利なもので固定しないでください。
 - ・ 充電コードや充電プラグをストーブなどの暖房器具に近づけないでください。
 - ・ 充電コードや充電プラグを落としたり、強い衝撃を与えないでください。
 - ・ 充電コードや充電プラグが損傷（断線や芯線の露出など）している状態で使用しないでください。

JCA16970

注意

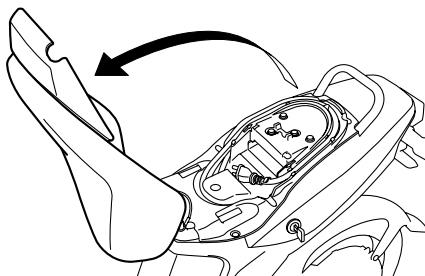
- 自動車の AC 電源、発電機などを充電に使用しないでください。故障の原因となります。充電するときは、必ず家庭用の漏電遮断器に接続されたアース付きコンセント（100V）をご使用ください。
- ご使用にならないときは、充電プラグを家庭用の漏電遮断器に接続されたアース付きコンセント（100V）につないだままにしないでください。ホコリや異物の蓄積が火災、感電、ショートの原因となります。また、落雷などによる故障のおそれがあります。ご使用にならないときは、安全のためコンセントから充電プラグを抜いてください。
- 充電が終わった後は、必ず充電コードを車両に収納してください。

要 点

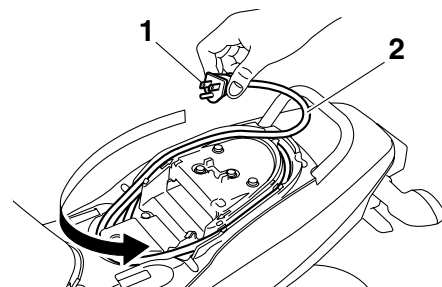
- 充電は、家庭用の漏電遮断器に接続されたアース付きコンセント（100V）を電源として車載充電器によって行います。
- 盗難予防のため、充電するときは必ずハンドルロックをかけ、キーをお持ちください。

充電の開始

1. メインスタンドを立てます。
2. メインスイッチを OFF にします。
3. シートを開けます。（シートの開閉は、4-11 ページ参照）



4. 充電プラグを持ち、充電コードを引き上げながら反時計方向に回して取り出します。



1. 充電プラグ
2. 充電コード

JWA15700

警告

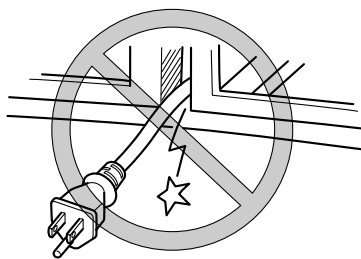
- 充電コードや充電プラグの改造、分解はしないでください。火災、感電、ショートの原因となります。
- 充電コードの芯線が見えるような傷があるものを使用すると、接触による感電や半断線による発熱のおそれがあります。芯線が見えるような傷を見つけたときは、すぐに使用を中止し、ヤマハ販売店で点検を受けてください。
- 車両の転倒などにより充電コードや充電プラグに強い衝撃を与えたと思われる場合は、すぐに使用を中止し、ヤマハ販売店で点検を受けてください。

バッテリーの充電

- 充電コードに強い引っ張り荷重がかかり、車両から充電コードが外れるなどの異常があった場合は、すぐに使用を中止し、ヤマハ販売店で点検を受けてください。
- 充電コードは過度の引っ張りで伸びることがあります。収納に支障が出るほど伸びてしまったときは断線のおそれがありますので、ヤマハ販売店で点検を受けてください。
- 充電コードや充電プラグは安全にお使いいただくために定期的に点検し、変形、傷付きなどの損傷があるときは、ヤマハ販売店に依頼して純正部品と交換してください。
- 充電プラグの刃部（金属接点部）が折損したり、グラグラしているようなものを使用すると、接触による感電や半断線による発熱のおそれがあります。プラグの刃部が折損したり、グラグラしているようなときは、すぐに使用を中止し、ヤマハ販売店で点検を受けてください。
- 車体が大きく破損、変形しているときは感電のおそれがあります。バッテリーや電気配線に触れないでください。また、充電プラグをコンセントに差さないでください。

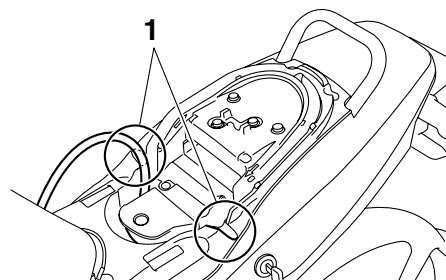
注意

充電コードの取り扱いには充分注意してください。ドアやサッシで充電コードをはさみ込むと、充電コードを傷つけるおそれがあります。



5. 充電コードを左右どちらかの溝に通します。

JCA16980



1. 溝

JCA16990

注意

充電コードは、溝を通して配線してください。充電コードを溝に正しく通さないと、充電コードなどが損傷するおそれがあります。

6. シートを閉め、シート後方を押さえてロックします。

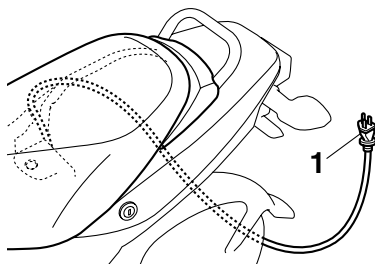
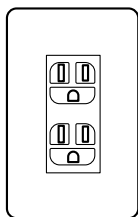
要点

- シートを閉める前に、シートの下に物を置き忘れてないか確認してください。
- キーをシートの下に置いたまま閉じると、ロックされてキーが取り出せなくなります。注意してください。

7. キーを抜き取ります。
8. 充電プラグを漏電遮断器に接続された

バッテリーの充電

アース付きコンセント(100V)に差し込みます。



1. 充電プラグ

JWA15710

警告

- 漏電による感電や発火を防ぐため、必ず漏電遮断器に接続されたアース付きコンセントを使用して充電してください。

- 充電プラグの金属端子部分に、ほこり、ゴミ、土、油、水などが付着すると火災、故障の原因となります。
- 充電プラグは、根元までしっかり差し込んでください。漏電遮断器に接続されたアース付きコンセントへの接続が不十分な場合は、感電や火災の原因となります。
- 漏電遮断器に接続されたアース付きコンセントを他の器具と併用して、容量以上で使用しないでください。他の器具を併用すると、分岐コンセント部が発熱し、火災の原因となることがあります。
- 充電プラグを濡れた手で取り扱わないでください。感電するおそれがあります。



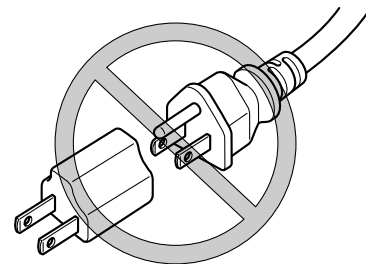
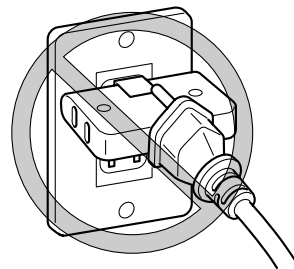
JCA17000

注意

- 充電コードは長さに余裕を持たせてコン

セントに接続してください。車両が転倒して、車体、充電コード、充電プラグ、家庭用コンセントなどを損傷するおそれがあります。

- 以下に示したような器具などを使用して充電をしないでください。



要点

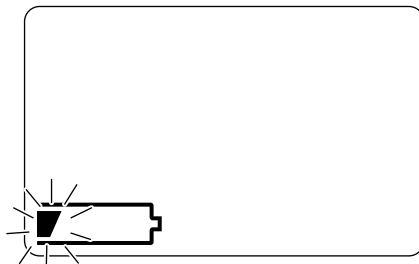
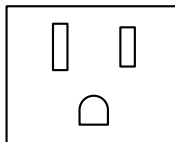
- 充電を開始するとメーターが点灯し、おし

バッテリーの充電

らせ音が鳴ります。

- 車載充電器は、日本国内の AC 100V のコンセント専用です。

AC 100V コンセント：
JIS C 8303 2 極接地極付コンセント
15A 125V



JWA15720

警告

充電コードを接続したままの状態 で車体を動かさないでください。転倒してケガをするおそれがあります。

JCA17010

注意

充電コードを接続したままの状態 で車体を動かさないでください。転倒して、車体や充電コードなどを損傷するおそれがあります。



要 点

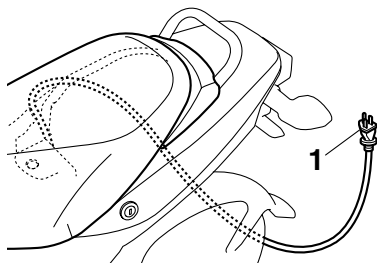
- 充電プラグをコンセントに差し込むと、自動的に充電を開始します。
- 充電プラグの抜き差しで、充電の中断、再開ができます。
- 充電中はメーターで充電の進行状態を確認できます。(充電の進行状態の表示は、6-11 ページ参照)
- 充電中はメインスイッチを ON にしても、始動待ちモードになりません。
- 充電中はメインスイッチが ON の状態でも、バッテリー残量表示灯以外は作動しません。
- 充電中に充電プラグを抜いた場合、メーターの表示は消灯します。
- 車載充電器は、自然空冷方式を採用しています。

9. 全てのメーターの表示が数秒間点灯した後、充電状態をメーターに表示します。

- 盗難予防のため、車から離れるときは必ずハンドルロックをかけ、キーをお持ちください。

充電の終了

1. 充電プラグを持ち、コンセントから充電プラグを抜きます。



1. 充電プラグ

JWA15730

警告

- 充電プラグを抜くときは、充電プラグを持って行ってください。充電コードを持って行くと、感電、ショート、発火の原因となります。
- 充電プラグの金属端子部分に、ほこり、ゴミ、土、油、水などが付着すると火災、故障の原因となります。
- 充電プラグを濡れた手で取り扱わないで

ください。感電するおそれがあります。

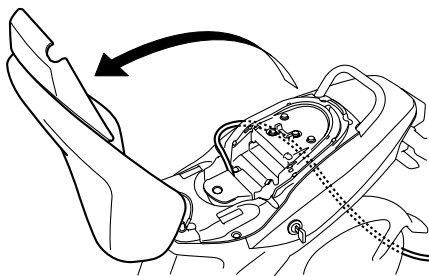
- 充電が終わった後は、速やかに充電プラグをコンセントから抜いてください。充電プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと、水没やいたずらにより漏電、感電の原因となります。また、ほこりや異物の蓄積が火災、感電、ショートの原因となります。

JCA17020

注意

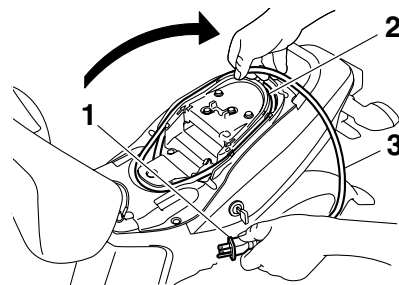
充電コードをひっぱって充電プラグを抜かないでください。充電コードを傷つけるおそれがあります。

2. シートを開けます。(シートの開閉は、4-11 ページ参照)



3. 充電プラグを持ち、充電コードを溝に押し込みながら、矢印に従って時計回りに

巻きつけます。



1. 充電プラグ
2. 溝
3. 充電コード

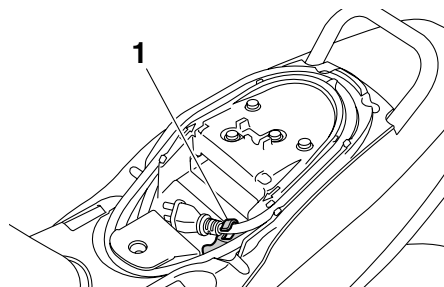
JCA17030

注意

- 充電コードを巻きつけるときは、充電コードが溝からはみださないように注意してください。
- 充電コードは時計回りに正しく巻きつけてください。正しく巻きつけなかった場合、車体や充電コード、充電プラグなどを損傷するおそれがあります。

4. 充電プラグ付近の充電コードをホルダーにはさんで収納します。

バッテリーの充電



1.ホルダー

5. シートを閉め、シート後方を押さえてロックします。

要 点

- シートを閉める前に、シートの下に物を置き忘れてないか確認してください。
- 走行前に、必ずシートが確実にロックされているか確認してください。
- キーをシートの下に置いたまま閉じると、ロックされてキーが取り出せなくなります。注意してください。

6. キーを抜き取ります。

要 点

- 充電が完了すると、メーターの表示は自動的に消灯します。
- 充電が完了した状態から再び充電プラグ

を漏電遮断器に接続されたアース付きコンセントに差し込んだ場合、一旦充電状態をメーターに表示しますが、数分後メーターの表示は消灯します。

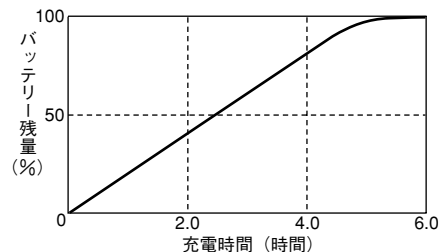
- 充電プラグを漏電遮断器に接続されたアース付きコンセントに差し込み、メーターの表示が消灯した状態で、メインスイッチをONにした場合、一旦充電状態をメーターに表示しますが、数分後メーターの表示は消灯します。
- 盗難予防のため、車から離れるときは必ずハンドルロックをかけ、キーをお持ちください。

充電時間

通常充電

充電時間は、充電前の走行状態やバッテリー残量・外気温により異なります。

バッテリー残量 0%の状態のバッテリーを充電するのにかかる時間の目安は約 6.0 時間です。



充電待ち

バッテリー温度が -5°C ~ 50°C の範囲にある場合は、充電待ちはありません。

バッテリー温度が -5°C 以下あるいは 50°C 以上のときは、メーターに“HEAT”または“COOL”が点滅して充電待ちをします。適正な温度になると、自動的に充電を開始します。

要 点

充電が完了すると、車載充電器の電源は自動

JAU50400

的に切れます。

JAU50410

JAU50420

JCA16900

注意

充電終了後は、充電コードを車体に正しく収納してください。

充電の進行状態の表示

充電中は充電状態をメーターに表示します。

充電の進行状態 (%)	メーターの充電状態表示
0~20	
20~40	
40~60	
60~80	
80~99	
100	消灯

■ 点灯  点滅

バッテリーの知識

リチウムイオンバッテリーとは…

要 点

- 充電前にバッテリーを使い切る必要はありません。
- 使用年月や使用条件により徐々に放電容量が低下します。
- 外気温により性能が変化することがあります。低温時は常温時に比べて、一充電あたりの走行距離が短くなり、また充電時間が長くなります。低温時は常温時に比べて放電容量が低下し、一充電あたりの走行距離が短くなりますが故障ではありません。
- 極端に高温または低温の場所でお車を保管すると放電容量が低下することがあります。
- 使用しなくても徐々に放電し、バッテリー残量が減っていきます。

EC-03 に使われているリチウムイオンバッテリー (Li-ion) はエネルギー密度が高く、ニカド (Ni-Cd) バッテリーやニッケル水素 (Ni-MH) バッテリーの約 3 倍の高電圧が得られるため、小型で軽量にできます。

また、ニカドバッテリーやニッケル水素バッテリーでは、浅い放電と充電を繰り返すと放

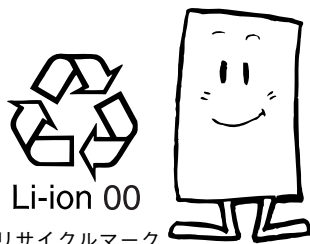
バッテリーの充電

電容量が減少するというメモリー効果があるため、定期的なリフレッシュ充電が必要ですが、リチウムイオンバッテリーはリフレッシュ充電は不要で、継ぎ足し充電が可能です。

バッテリーのリサイクルにご協力ください

リチウムイオンバッテリー（Li-ion）はリサイクル可能なバッテリーです。

バッテリーが劣化して放電容量が著しく低下したときは、ヤマハ販売店にバッテリーの交換を依頼してください。



JWA15770

警告

- バッテリーを分解しないでください。
- バッテリーを加工、改造しないでください。

- 異なった種類のバッテリーと接続しないでください。
- 指定以外の充電器で充電しないでください。
- バッテリーを他の用途に使用しないでください。
- バッテリーの交換は、ヤマハ販売店に依頼してください。

バッテリーの劣化

EC-03 に使われているリチウムイオンバッテリー（Li-ion）は、性能（放電容量）が徐々に低下してゆく特性を持っています。性能低下の度合いは使用条件によって大きく異なりますが、目安として 2 年間、8000 ～ 10000km 走行時において、新品時の約 70% まで放電容量が低下します。これは 1 回の充電で 16 ～ 20km 走行するとしたとき、約 500 回の充電回数に相当します。

バッテリーの放電停止機能

バッテリーが著しく劣化した場合などに、バッテリーをご利用できなくなる機能が織り込まれています。

初回充電から 8 年が経過した場合、または累積の充電量が 14000Ah に達した場合にバッテリーの使用ができなくなります。

要 点

- バッテリーを交換したときは、使用前に 1 回、完全に充電してください。完全に充電しないと、メーター内バッテリー残量表示灯が正確な残量を表示できません。
- 0℃程度の低温では、常温に比べて約 20% 放電容量が低下します。
- 劣化したバッテリーを低温で使用すると、劣化と低温による両方の影響を受けて放電容量が低下します。

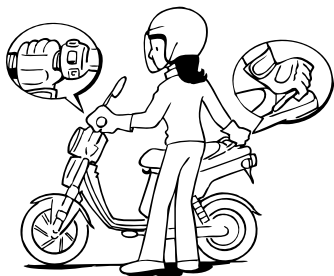
JAU50090

発進の準備

要 点

発進の準備はスロットルグリップを閉じて行ってください。スロットルグリップを回して操作すると、エラーになることがあります。

1. 車の左側に立って左手でリヤブレーキレバーを握り、右手でスタンディングハンドルを持ちます。



2. 車を前に押し出してメインスタンドを戻します。

JWA15660

警告

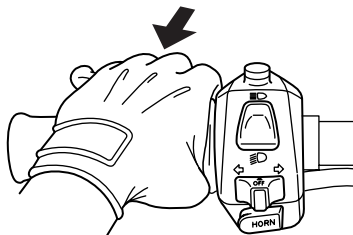
メインスタンドを立てたり戻したりするときは、スロットルグリップを握らないでください。スロットルグリップが回り、車が走り

出すことがあります。

3. 右足をフットレストに乗せ、シートに座ります。このとき、車が倒れないように左足で支えます。



4. 車が動き出さないように、左手でリヤブレーキレバーをしっかり握ります。



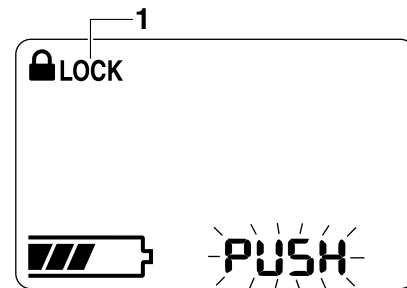
警告

飛び出し防止のため、必ずリヤブレーキを動作させてください。

5. メインスイッチを ON にします。



全てのメーター表示が数秒間点灯した後、始動待ちモードになります。



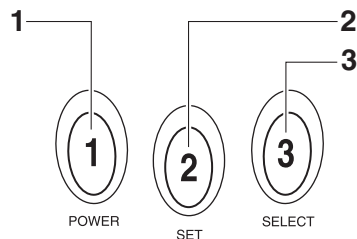
1. 暗証ロック表示 “ LOCK”

運転操作

要 点

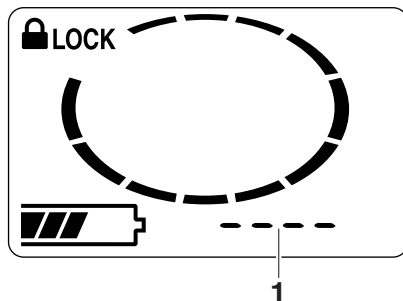
- 暗証ロック表示 “ LOCK” は暗証ロックがセットされているときに点灯します。
- 始動待ちモードのときにスロットルをあげると、おしらせ音が鳴ります。

6. 1 ボタン “POWER”、2 ボタン “SET”、3 ボタン “SELECT” のいずれかを押し始動待ちモードを解除します。



1. ボタン “POWER”
2. ボタン “SET”
3. ボタン “SELECT”

暗証ロック解除モードになります。
 (“-----” が表示されます。)



1. “-----” 表示

要 点

暗証ロックがセットされていないときは、始動待ちモードを解除すると走行モードになります。走行モードになると、おしらせ音が鳴ります。このおしらせ音は、ブレーキレバーを握るか走行すると鳴りやみます。手順 8 に進みます。

7. 暗証番号を入力します。

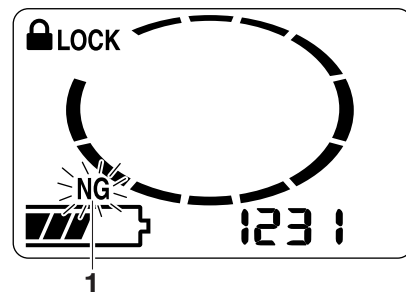
1 ボタン “POWER”、2 ボタン “SET”、3 ボタン “SELECT” で入力します。
正しい番号を入力すると暗証ロックが解除され走行モードになります。

要 点

走行モードになると、おしらせ音が鳴りま

す。このおしらせ音は、ブレーキレバーを握るか走行すると鳴りやみます。

暗証番号を間違えると、おしらせ音が鳴り “NG” が数秒間点滅して、始動待ちモードに戻ります。



1. “NG” 表示

手順 6 から再度やり直してください。

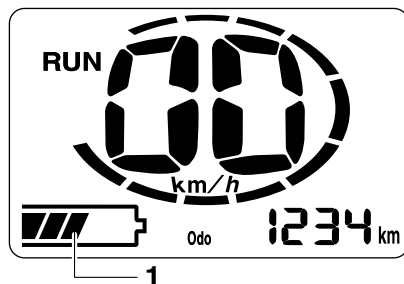
要 点

暗証番号は 3 回続けて間違えると、次回以降正しい番号を入力しても解除できなくなります。一旦メインスイッチを OFF にして、再度メインスイッチを ON にしてやり直してください。

8. バッテリー残量表示灯でバッテリー残量が充分であることを確認します。(バッテ

リー残量の目安は、3-4 ページ参照)

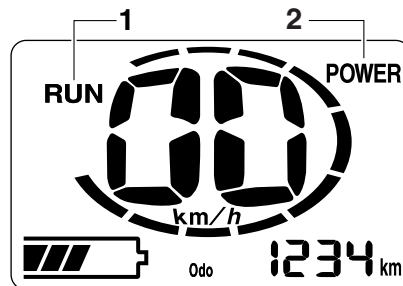
JAU50100



1. バッテリー残量表示灯

発進

1. 走行可能状態表示“RUN”が表示され、走行モードになっていることを確認します。

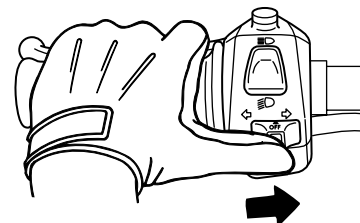


1. 走行可能状態表示“RUN”
2. パワーモード表示“POWER”

要 点

パワーモードに設定されているとパワーモード表示“POWER”を表示します。(パワーモード／標準モードの切り替えは、3-1 ページ「モードの切り替えかた」を参照)

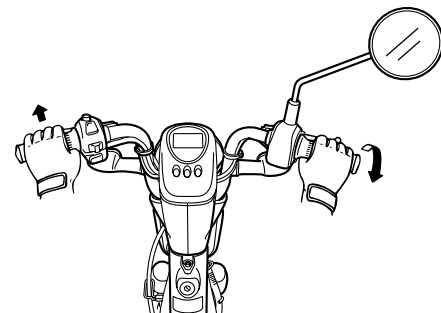
2. 方向指示器スイッチを右側に入れ、発進の合図をします。



要 点

方向指示器を使用すると、おしらせ音が鳴ります。

3. 前後の安全を確認します。
4. リヤブレーキレバーを離します。
5. まわりの安全を確認し、スロットルグリップをゆっくりと回して発進します。



JWA12280

JAU50110

JAU16793

警告

スロットルグリップを急激に手前に回すと、急発進して危険です。

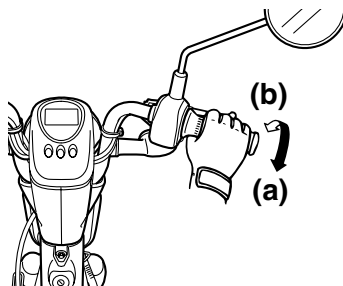
6. 方向指示器を消灯します。

要点

EC-03 にはバッテリー保護のため、オートパワーオフ機能が装備されています。停止したまま5分以上経過すると電源が OFF になります。5 分以上停止してから再発進する場合は、一旦メインスイッチを OFF にしてから再度メインスイッチを ON にして発進の準備をしてください。

加速と減速

速度の調節は、スロットルを開けたり、閉めたりして行います。速度を上げるには、スロットルグリップを (a) 方向に回します。速度を落とすには、スロットルグリップを (b) 方向に回します。



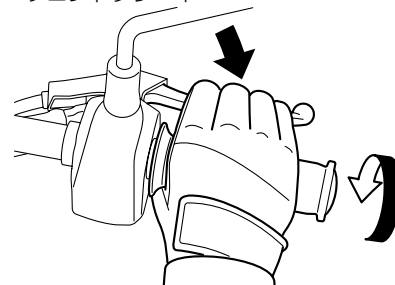
JCA16850

注意

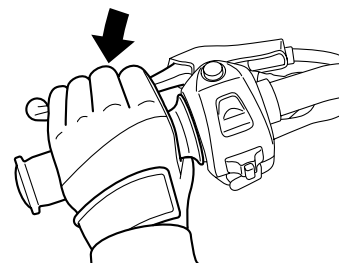
上り坂で停止するときは、ブレーキを使用してください。スロットルグリップの操作で車を保持すると、モーターなどが発熱して温度保護装置が作動し、走行できなくなることがあります。

ブレーキ

1. スロットルを完全に閉じます。
2. フロントブレーキとリアブレーキを同時に、徐々にしぼりこむように握ります。



リアブレーキ



JWA11572

警告

- 急なブレーキは避けてください (特にどち

らか一方に傾いている時)。横すべりや転倒の原因となります。

- 踏切、路面電車のレール、道路建設現場の鉄製のプレート、マンホールのフタなどは、濡れているときは極端に滑りやすくなります。そのようなところでは減速し、注意して走行してください。
- 濡れた路面では、ブレーキが効きにくいことを留意してください。
- 下り坂でのブレーキ操作は非常に困難です。下り坂に差しかかる前までに充分減速してください。
- 連続したブレーキ操作は避けてください。ブレーキ部の温度が上昇し、ブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。

JAU50120

てください。)

駐車

駐車をするときは、盗難予防のため必ずハンドルロックをかけ、キーをお持ちください。また、チェーンロックなどのサイクルロックも同時に使用することをおすすめします。

JWA15580



警告

- 交通のじゃまにならない場所に駐車してください。
- 傾斜地や地面が柔らかいところには駐車しないでください。車が転倒することがあります。

要 点

- 極端に気温の高い場所または低い場所に駐車すると、メインスイッチをONにしたときに温度保護機能が作動する場合があります。温度保護機能が作動すると、トリップメーター／オドメーターの表示部に“HEAT”または“COOL”が点滅します。(温度保護機能は、4-4 ページ「温度警告表示“HEAT”／“COOL”」を参照)
- 駐車をする前に暗証ロックをセットすることをおすすめします。(詳しくは、4-10 ページの「暗証ロックのセット」を参照し

点検整備

JAU50130

点検整備の実施

日常点検

5-1 ページ「日常点検箇所／点検内容」の表にしたがって、運転する前に実施してください。点検の方法については、本書の以降のページや、別冊「メンテナンスノート」の点検整備のしかた以降のページを参照してください。

定期点検整備

定期点検整備は車を使用する人が自己管理責任で定期的に行う点検整備で、法または法に準じて行うことが義務づけられています。二輪自動車または原動機付自転車については、1年点検と2年点検の2種類があります。

定期点検項目と基本的な点検内容は別冊の「メンテナンスノート」に記載してあります。ここでは、この車独自の内容を補足説明しています。実際の点検作業にあたっては、別冊「メンテナンスノート」とあわせてご使用ください。

JWA15590

警告

- 点検整備を怠ると重大な事故やケガ、トラブルの原因となります。必ず実施してください。

- 安全のため、ご自身の知識、技量にあわせて範囲内で点検・整備を行ってください。難しいと思われる内容はヤマハ販売店にご依頼ください。
- 点検するときは安全に充分注意し、以下の内容を守ってください。
 - ・ 点検は平坦で足場のしっかりした場所を選び、メインスタンドを立てて行ってください。
 - ・ 走行直後は、モーターなどが熱くなっています。直接触れたりしないでください。ヤケドに注意してください。
 - ・ 走行して点検するときは、周囲の交通事情に充分注意してください。
 - ・ 異常が認められたときは、乗車前にご使用のかたご自身またはヤマハ販売店で必ず整備を行ってください。
 - ・ 充電プラグをコンセントに接続した状態では点検・整備をしないでください。

JWA15800

警告

走行直後はブレーキ関係の部品に直接触れないでください。ブレーキドラム、ライニングなどは使用すると高温になり、ヤケドするおそれがあります。点検整備はブレーキ関係の部品が十分に冷えてから行ってください。

要 点

- 点検整備に使用する工具は、必要に応じて買い求めください。(モデルにより、車載工具の有無や内容が異なります。)
- 点検結果は、別冊「メンテナンスノート」の定期点検整備記録簿に記入してください。ご自身でできない項目については、ヤマハ販売店で点検を受け、記録してください。
- 点検の記録は廃車されるまで保存してください。
- メーカー指定項目の点検結果は、定期点検整備記録簿の「その他」の欄に記録してください。

JAU50140

モーターの異音の点検

モーターから異音がしないかを点検します。

要 点

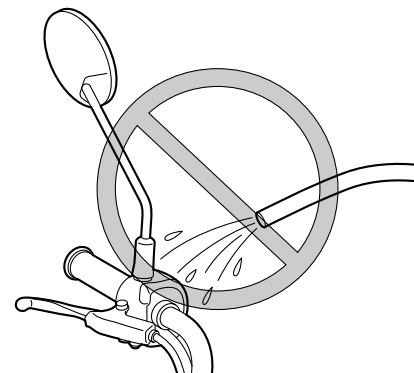
メインスタンド使用中は、安全のため、スロットルグリップを操作してもモーターの回転数は一定以上にはなりません。

JAU50150

低速、加速の状態の点検

低速、加速の状態の点検前に以下の点検を行ってください。

- メインスイッチを OFF にした状態でスロットルグリップをゆっくり回し、引っかけがなくスムーズに作動することと、手を離れたときにスロットルグリップがスムーズに戻ることを点検してください。
- スロットルグリップまわりに劣化や損傷などがないか点検してください。また、取り付けの状態も点検してください。
- 洗車時にはスロットルグリップまわりに直接水をかけないようにしてください。スロットルグリップまわりの汚れがひどい場合には、水で濡らして固くしぼった布などでふきとってください。



JWA15670

⚠ 警告

スロットルグリップの作動に異常があるときは、早めにヤマハ販売店にご相談ください。異常がある状態で使用を続けると、重大な事故やケガ、トラブルの原因となります。

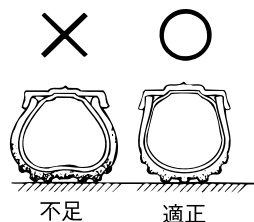
1. 左手でリヤブレーキレバーを握ります。
2. メインスイッチを ON にします。
3. 1 ボタン “POWER”、2 ボタン “SET”、3 ボタン “SELECT” のいずれかを押し、始動待ちモードを解除します。
4. 走行可能状態表示 “RUN” が表示され、走行モードになっていることを確認します。(詳しくは、7-1 ページの「発進の

点検整備

準備」、「発進」の方法を参照してください。)

5. スロットルグリップを徐々に回して加速したとき、スロットルグリップもモーターもスムーズに回るかを走行などして点検します。このとき異常を感じたら、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

タイヤ空気圧



タイヤ接地部のたわみ状態により空気圧が不足していないかを点検します。たわみ状態が異常なときは、タイヤゲージで点検し、正規の空気圧にしてください。

タイヤ空気圧：

前輪：

200 kPa (2.00 kgf/cm²)

後輪

250 kPa (2.50 kgf/cm²)

要 点

- タイヤの空気圧は徐々に低下します。見た目には不足していることが判りにくいタイヤもあり、少なくとも1か月に一度はタ

JAU30941

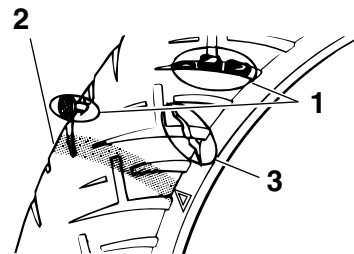
イヤゲージを使用して空気圧の点検を行ってください。

- 空気圧の確認は、タイヤが冷えているときに行ってください。走行後はタイヤが暖まっており、空気圧が高くなります。

JAU28581

タイヤの亀裂、損傷の点検

タイヤの接地面や側面に著しい亀裂や損傷がないか、また、釘、石、その他の異物が刺さっていないかを点検します。



1. 異物（釘、石など）
2. ウェアインジケーター（摩耗限度表示）
3. 亀裂、損傷

要 点

道路の縁石などにタイヤ側面を接触させたり、大きなくぼみや突起物を乗り越えたとき

は、必ず点検してください。

JAU28700

タイヤの異常な摩耗

タイヤの接地面が異常に摩耗していないかを点検します。

JAU28742

タイヤの溝の深さ

タイヤの溝の深さをウェアインジケーターで点検します。ウェアインジケーターがあらわれたら、タイヤを交換してください。

要 点

- ウェアインジケーターはタイヤの溝が 0.8 mm になるとあらわれます。
- 安定したコーナリングや操縦性などを確保して安全な走行を行うため、タイヤの溝には充分注意してください。一般的に原付のタイヤは前輪、後輪とも溝の深さが 1.6 mm 以下になりましたら交換をおすすめします。

JWA11912

警告

- **タイヤを交換するときは、必ず指定タイヤを使用してください。指定タイヤ以外のタイヤを使用すると、操縦安定性に影響をおよぼすおそれがありますので使用しないでください。**

- 過度にすり減ったタイヤの使用や不適正な空気圧での運転は、転倒事故などを起こす原因となることがあります。取扱説明書に記載された空気圧を守り、過度にすり減ったタイヤは交換してください。
- **タイヤに異常があると、操縦安定性に影響をおよぼしたりバンクの原因になります。異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。**

タイヤサイズ：

前輪：

60/100-12 36J

後輪：

60/100-12 36J

指定タイヤ：

前輪：

INOUE RUBBER/MB80

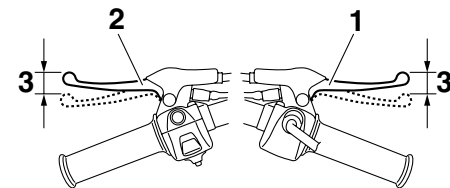
後輪：

INOUE RUBBER/MB80

ブレーキレバーの遊び、きき具合の点検

ブレーキの遊びの点検

ブレーキレバーを軽く握り、抵抗を感じるまでのレバー先端部の遊びが 10.0–20.0 mm の範囲にあるかを点検します。



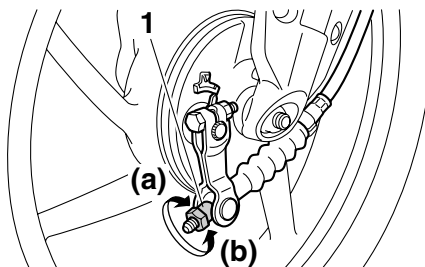
1. フロントブレーキレバー
2. リアブレーキレバー
3. 遊び

点検の結果調整が必要な場合は、アジャスターで調整します。

1. アジャスターを時計回り (a) に回すと、遊びが少なくなります。
2. アジャスターを反時計回り (b) に回すと、遊びが多くなります。

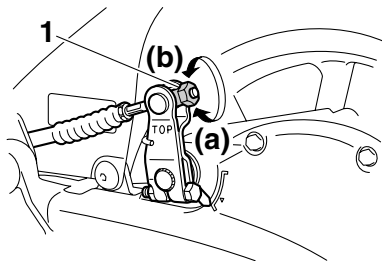
点検整備

フロントブレーキ



1. アジャスター

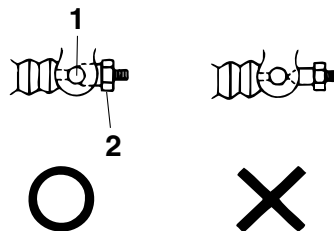
リヤブレーキ



1. アジャスター

要 点

アジャスターは、必ずピンとかみ合わせてください。



1. ピン
2. アジャスター

JWA11850

警告

ブレーキ調整後は、必ずブレーキランプの点灯とタイミング、ブレーキの引きずりがなければ確認してください。

ブレーキのきき具合の点検

乾いた路面を走行し、フロントブレーキ、リヤブレーキを別々に作動させたときのきき具合を点検します。

ブレーキのきき具合が悪いときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

JWA11760

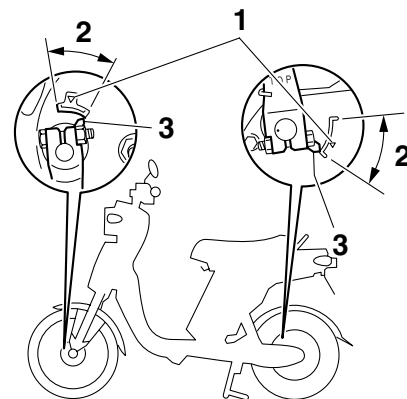
警告

走行して点検するときは、交通状況に注意し、低速で走行しながら行ってください。

JAU29800

ブレーキシューの摩耗点検

ブレーキレバーをいっぱい握ったとき、インジケーターが使用範囲から外れるとブレーキシューの使用限度です。ヤマハ販売店で交換・整備を受けて下さい。



1. ドラムインジケーター（ヤマハ販売店整備用）
2. 使用範囲
3. インジケーター

JAU50160

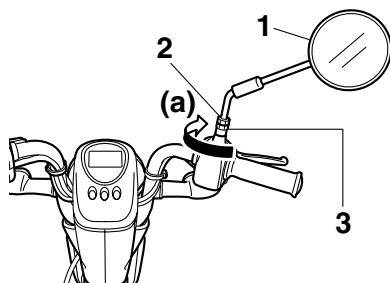
JAU28620

JAU50170

バックミラー

バックミラーの脱着のしかた

- バックミラー取り付けアダプターのボルト部は左ネジです。バックミラーを取り外すときは、バックミラー取り付けアダプターを時計回り (a) 方向に回します。



1. バックミラー
2. バックミラー取り付けナット
3. バックミラー取り付けアダプター

- バックミラーの取り付けは、取り外しと逆の手順で行います。

要 点

バックミラー取り付けナットは、右ネジです。

車体各部の給油脂状態の点検

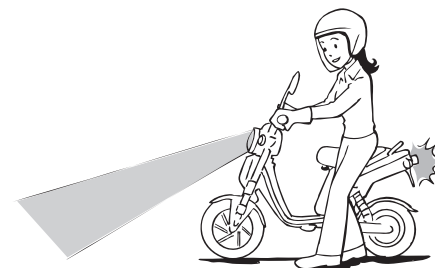
車体各部の給油脂状態が充分であるかを点検します。

異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

灯火装置および方向指示灯の点検

メインスイッチを ON にします。

- ヘッドライト、テールランプが点灯するかを点検します。同時にヘッドライト上下切り替えスイッチを操作し、上向き、下向きに切り替わるかも点検します。



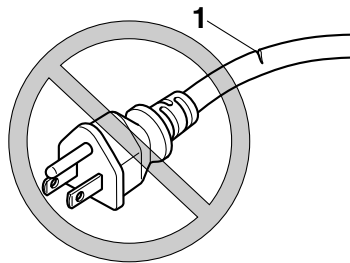
- フロントブレーキレバー、リヤブレーキレバーを別々に握り、ブレーキランプが点灯するかを点検します。
- 方向指示器スイッチを操作し、左および右の方向指示灯が、前後同時におしらせ音を伴って点滅するかを点検します。



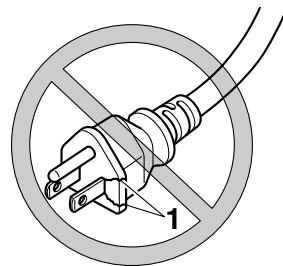
- レンズなどに汚れや損傷がないかを点検します。

充電コードおよび充電プラグの点検

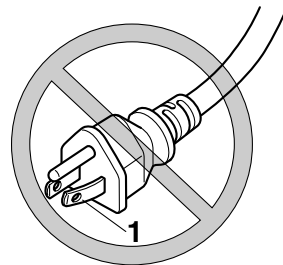
- 充電コードおよび充電プラグに亀裂や割れ、変形などの損傷がないことを点検し、異常がある場合は充電操作を絶対に行わず、ヤマハ販売店に整備を依頼してください。
- 充電コードおよび充電プラグに汚れや異物の付着がないことを点検し、付着している場合は乾いた布でふき取ってください。



1. 亀裂



1. 割れ



1. 変形

JWA15790

警告

- 充電プラグをコンセントに差し込んだ状態で点検・整備をしないでください。感電やショートのおそれがあります。
- 充電コードおよび充電プラグが損傷、変形

している場合は、必ず新品に交換してください。感電やショートによる火災のおそれがあります。

JCA17100

注意

車両点検時に充電コードや充電プラグに防錆剤、有機溶剤や油脂類などが付着しないようにしてください。

JAU29570

運行において異常が認められた箇所の点検

運行中に異常を認めた箇所について、運行に支障がないかを点検します。

JAU50180

こんなときは

こんなときは、ヤマハ販売店にご相談される前に次のことを調べてください。

電源が入らない（メーターに何も表示されない）ときは？

ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

メインスイッチを ON にしても始動待ちモードにならないときは？

次の項目を確認してください。

1. 充電中ではありませんか？
充電中はメインスイッチを ON にしても始動待ちモードにはなりません。
2. スロットルグリップを回さずにメインスイッチを ON にしましたか？
スロットルグリップを回した状態でメインスイッチを ON にすると、始動待ちモードにはなりません。スロットルグリップを閉じ、一旦メインスイッチを OFF にしてから ON にしなおしてください。

以上のことを確認しても始動待ちモードにならないときは・・・

ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

点検整備

発進できないときは？

走行モードになっていますか？（走行可能状態表示“RUN”が表示されていますか？）

走行モードにならないと、発進できません。上記のことを確認してから、7-1 ページの「発進の準備」、「発進」の方法で再度発進してください。

以上のことを確認しても、発進できないときは・・・

ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

警告マーク表示“”が表示されたときは？

メインスイッチを一旦 OFF にしてから ON にしなおしても警告マーク表示“”が表示されているときは・・・

ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

要 点

警告マーク表示“”が表示されていても、走行可能状態表示“RUN”が点灯し走行モードになっていれば走行できます。

ランプ類が点灯しないときは？

次の項目を確認してください。

1. 充電中ではありませんか？
2. メインスイッチが ON になっています

か？（メーターが表示をしていますか？）

メーターが表示していないときは、オートパワーオフが作動している場合がありますので、一旦メインスイッチを OFF にしてから ON にしなおしてください。

3. 各スイッチを作動させていますか？

以上のことを確認しても、ランプ類が点灯しないときは・・・

- 方向指示灯の場合はヒューズ切れが考えられます。ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。
- 方向指示灯以外のランプ類の場合はランプの球切れが考えられます。10-1 ページの規格に合わせて、同じものと交換してください。

JCA11981

注 意

電球を交換するときは、正規のワット数のものを使用してください。正規のワット数以外のものを使用すると、正常に作動しません。

走行中にモーターが止まったときは？

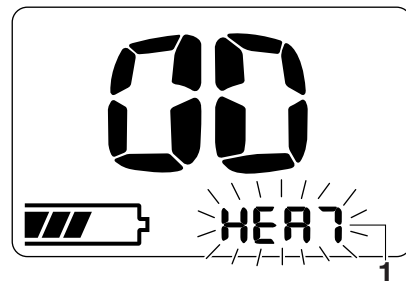
次の項目を確認してください。

1. バッテリー残量はありますか？

バッテリー残量表示灯でバッテリー残量を確認してください。バッテリー残量がないときは充電してから使用してください。

い。

2. メーターの表示は“HEAT”が点滅していて“RUN”が消灯していませんか？



1. “HEAT”表示

温度保護機能が作動しています。メインスイッチを OFF にして、しばらく待ってから使用してください。

JWA15630

警告

- EC-03 を押して移動する場合は、メインスイッチを OFF にしてください。
- 押して移動するとき、歩道のある場所では歩道を通行してください。

以上のことを確認しても、モーターが回らないときは・・・

ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

い。

メインスイッチがONのときにメーターやヘッドライトが消灯したときは？

次の項目を点検してください。

1. 5分以上、停車していませんか？

EC-03 にはバッテリー保護のため、オートパワーオフ機能が装備されています。停止したまま5分以上経過すると電源がOFFになり、メーターやヘッドライトが消灯します。

2. バッテリー残量はありますか？

バッテリー残量がないときは充電してから使用してください。

JWA15630

警告

- EC-03 を押して移動する場合は、メインスイッチをOFFにしてください。
- 押して移動するとき、歩道のある場所では歩道を通行してください。

以上のことを確認してから再度メインスイッチをONにしてください。

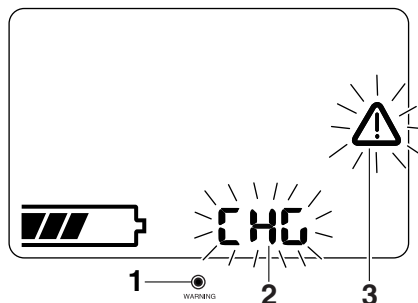
再度メインスイッチをONにしてもメーターやヘッドライトが点灯しないときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

暗証ロックが解除できないときは？

暗証番号は 3 回続けて間違えると、正しい

番号を入力しても解除できなくなります。一旦メインスイッチをOFFにして、再度メインスイッチをONにしてやり直してください。

充電中、警告灯が点灯し、メーターに“CHG”と警告マーク表示“⚠”が点滅したときは？



1. 警告灯
2. “CHG”表示
3. 警告マーク表示 “⚠”

充電中に異常が発生すると自動的に充電を中止し、警告灯が点灯、メーターに“CHG”と警告マーク表示“⚠”が点滅して充電異常を知らせます。

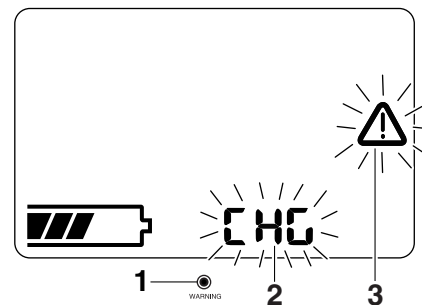
要 点

充電異常を知らせる表示が 5 分間継続する

と、警告灯が消灯し、メーターの表示が全て消灯します。

一旦、コンセントから充電プラグを抜いて充電を中止し、時間をおいてから再度充電してください。再び充電異常表示となったときは、機器の故障が考えられます。コンセントから充電プラグを抜き、使用を中止してください。ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

メインスイッチをONにしたとき、警告灯が点灯し、メーターに“CHG”と警告マーク表示“⚠”が点滅したときは？



1. 警告灯
2. “CHG”表示
3. 警告マーク表示 “⚠”

充電が正常に終了していません。

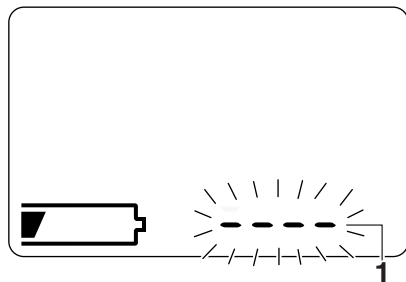
点検整備

上記の表示をしている間は、全ての操作を受け付けることができません。

メインスイッチをOFFからONにするリセット操作をし、再度充電してください。

充電後、再び上記の表示となったときは、機器の故障が考えられます。ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

充電中、メーターに“-----” が点滅したときは？

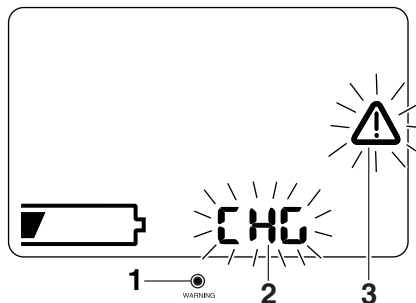


1. “-----” 表示

バッテリー電圧が所定の電圧以下のときに表示されます。そのまま充電を続けてください。

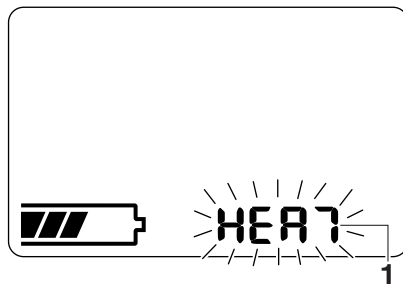
1 時間程度充電した後、警告灯が点灯し、メーターに“CHG”と警告マーク表示“⚠”が点滅しているときは機器の故障が考えられます。ヤマハ販売店で点検・整備を受けて

ください。



1. 警告灯
2. “CHG” 表示
3. 警告マーク表示 “⚠”

充電中、メーターに“HEAT” が点滅したときは？

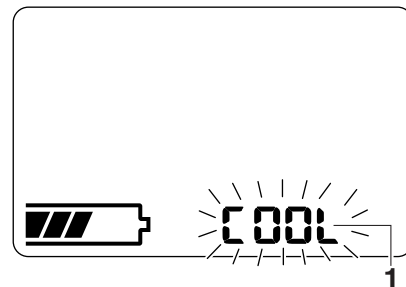


1. “HEAT” 表示

故障ではありません。

バッテリーの温度が、50℃ 以上のため充電待ちの状態です。そのままお待ちください。適性な温度になると、“HEAT” が消灯し、自動的に充電を開始します。（詳しくは、6-1 ページの「充電する場所」を参照してください。）

充電中、メーターに“COOL” が点滅したときは？



1. “COOL” 表示

故障ではありません。

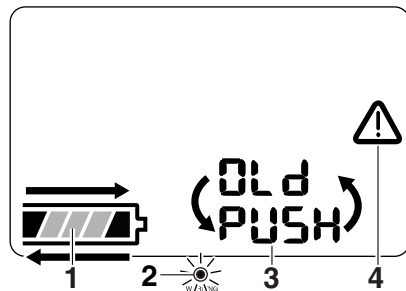
バッテリーの温度が、-5℃ 以下のため充電待ちの状態です。あたたかな場所でもう一度充電をしておいてください。

適性な温度であれば、“COOL” が消灯し、自動的に充電を開始します。（詳しくは、

6-1 ページの「充電する場所」を参照してください。）

メインスイッチを ON にしたとき、警告音が鳴り、以下のバッテリー劣化画面を表示したときは？

- 警告灯が点滅
- 警告マーク表示 “⚠” が点灯
- バッテリー残量表示灯のセグメントが左右に移動しているように点灯
- “PUSH” 表示と “OLD” 表示が交互に点灯



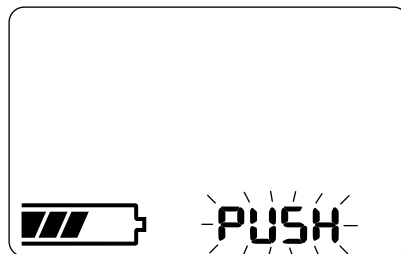
1. バッテリー残量表示灯
2. 警告灯
3. “PUSH” / “OLD” 表示
4. 警告マーク表示 “⚠”

バッテリーが劣化しています。

警告音を解除するには、1 ボタン “POWER”、2 ボタン “SET”、3 ボタン “SELECT” の

いずれかを押します。

この操作でメーターは、バッテリー劣化画面から始動待ちモードの画面に切り替わります。



1 ボタン “POWER”、2 ボタン “SET”、3 ボタン “SELECT” のいずれかを押して始動待ちモードを解除します。

走行可能状態表示 “RUN” が点灯し、走行モードになっていれば走行できますが、バッテリーの寿命が近づいています。バッテリーの充電ができなくなる前に、バッテリーの交換についてヤマハ販売店にご相談ください。

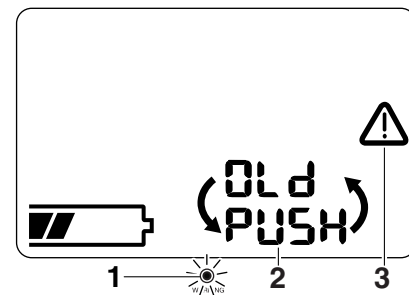
要 点

- 1 ボタン “POWER”、2 ボタン “SET”、3 ボタン “SELECT” のいずれかを押すまでは警告音が鳴り続け、メーターはバッテリー劣化画面を表示し続けます。

- バッテリー保護のため、オートパワーオフ機能が装備されています。5分以上経過すると電源が OFF になり、警告音が鳴りやみメーターが消灯します。

充電を開始（充電プラグを漏電遮断器に接続されたアース付きコンセントに差し込んだとき）したとき、警告音が鳴り、以下のバッテリー終了画面を表示したときは？

- 警告灯が点滅
- 警告マーク表示 “⚠” が点灯
- “PUSH” 表示と “OLD” 表示が交互に点灯



1. 警告灯
2. “PUSH” / “OLD” 表示
3. 警告マーク表示 “⚠”

バッテリーの寿命です。

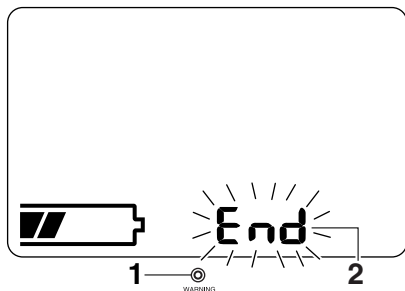
ヤマハ販売店でバッテリーを交換してくだ

点検整備

さい。バッテリー交換は有料です。

警告音を解除するには、1 ボタン“POWER”、2 ボタン“SET”、3 ボタン“SELECT”のいずれかを押します。

この操作でメーターは、バッテリー終了画面から警告灯が消灯し、以下の画面に切り替わります。



1. 警告灯

2. “END”表示

コンセントから充電プラグを抜くと、メーターの表示は全て消灯します。

要 点

- 1 ボタン“POWER”、2 ボタン“SET”、3 ボタン“SELECT”のいずれかを押すまでは警告音が鳴り続け、メーターはバッテリー終了画面を表示し続けます。

- バッテリー保護のため、オートパワーオフ機能が装備されています。5 分以上経過すると電源が OFF になり、警告音が鳴りやみメーターが消灯します。

充電できない(充電してもバッテリー残量が増えない)ときは？

充電プラグは、漏電遮断器に接続されたアース付きコンセントにしっかり差し込まれていますか？

上記のことを確認してから、6-3 ページの「充電のしかた」を参照し、もう一度充電してください。

以上のことを確認しても、充電できないときは・・・

車載充電器の故障が考えられます。ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

車載充電器から異臭、煙がでるときは？

コンセントから充電プラグを抜き、ただちに使用を中止してください。ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

1 回の充電で走れる距離が著しく短くなったときは？

バッテリーの寿命です。

ヤマハ販売店でバッテリーを交換してください。バッテリー交換は有料です。

漏電遮断器が作動して充電ができないときは？

充電操作を止めて、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

JAU35122

いつまでも車を長持ちさせるために、お手入れをしてください。

すみずみまで掃除すれば、普段気付かない異常箇所や摩耗が発見でき、故障の予防にもなります。

JCA13082

注意

お車によってはマット塗装（ツヤ消し塗装）が施されています。お車の手入れの前にヤマハ販売店で、どのようなアフターケア用品を使用したら良いか、ご相談することをおすすめします。また、マット塗装部分のお手入れをするときは、以下の点に注意してください。

- 洗車などでブラシは使用しないでください。塗装を傷つけることがあります。
- ワックスがけはしないでください。ふき残しなどにより、外観が変化することがあります。
- コンパウンドは使用しないでください。マット塗装の表面が研磨されて、光沢がでることがあります。
- マット塗装部分の補修が必要な場合は、ヤマハ販売店にご相談ください。

洗車

雨天走行後など、車が汚れたときは早めに洗車してください。車をサビやキズから守ります。

- 中性洗剤を使用して洗車した後、十分に水洗いします。洗車後は柔らかな布で水分をよくふきとります。
- 洗車後、必要に応じて各部にグリースなどを注油してください。
- 車の塗装面保護のため、ワックスがけをしてください。（マット塗装部分を除く）

ワックス：
ユニコンカークリーム



JWA15600

警告

- バッテリーを充電しながら洗車しないで

ください。火災、感電の原因となります。

- 洗車をする前に、必ずシートが閉まっているか確認してください。シートが開いていると、バッテリーや車載充電器に水がかかり、感電やショートの原因となります。
- 洗車時、ブレーキドラムに直接水をかけないでください。ドラム内に水が入ると、ブレーキの制動力が低下し、一時的にブレーキが効かなくなることがあります。特に寒冷地では充分注意してください。
- 洗車後、ブレーキの効きが悪くなることがあります。効きが悪いときは、前後の車に充分注意しながら低速で走行し、効きが回復するまで数回ブレーキを軽く作動させて、ブレーキの湿りをかわかしてください。
- 充電コード、充電プラグは水で洗わないでください。汚れたときは、乾いた布でふき取ってください。

JCA16860

注意

- スロットル、電装品などに水が入らないように注意してください。故障の原因になります。
- ヘッドライト、メーターパネル、カバーなどのプラスチック部品にガソリンやブ

お車の手入れ

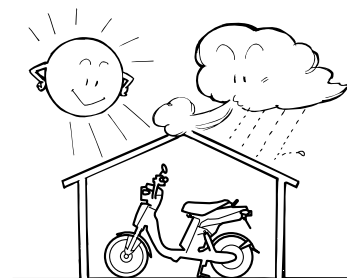
レーキ液、アルカリ性および強酸性のクリーナー、その他の溶剤などがかかると、ヒビ割れなどの原因になりますので注意してください。また、コンパウンドの入ったワックスは、表面を傷つけますので使用しないでください。

- ウインドシールド、ヘッドライトレンズ、メーターレンズ、カウル、パネルなどのプラスチック部品は、清掃のしかたを誤ると外観を損ねたり損傷したりします。まず、柔らかくて清潔な布やスポンジを使用し、水洗いしてください。もし、汚れが十分に落ちないときは、少量の中性洗剤を水で薄めて清掃してください。中性洗剤を使用して清掃した後は、大量の水で洗剤を完全に洗い落としてください。洗剤の成分が残っていると、プラスチック部品が損傷するおそれがあります。
- 高圧洗車機やスチーム洗浄機は使用しないでください。水が侵入し、故障の原因となることがあります。

す。

JAU50200

保管のしかた 保管場所



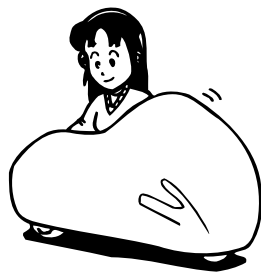
保管場所は慎重に選びましょう。

- 平坦で安定のよいところ。
- 風通しがよく、湿気のないところ。
- 雨つゆや直射日光が当たらないところ。
- 車はできるだけ敷地内に保管してください。

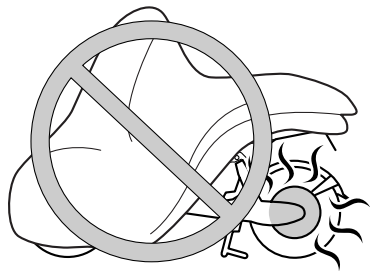
要 点

洗車後、雨天走行後、または湿度が高い天候のときなど、ヘッドライトのレンズが曇ることがあります。このような曇りは、ヘッドライトを短時間点灯することで自然に取れま

保管方法



- 盗難予防のため、車から離れるときは必ずハンドルロックをかけ、キーをお持ちください。また、チェーンロックなどのサイクルロックも同時に使用することをおすすめします。
- 屋外に駐車するときはボディーカバーをかけてください。なお、ボディーカバーはモーターが冷えてからかけてください。



長期保管するときは

- バッテリー残量が少ない場合は充電してください。バッテリーを長持ちさせるために、バッテリーの残量表示が 2 ～ 3 灯の状態での保管をおすすめします。
- バッテリーの残量が 20%以下（バッテリーの残量表示が 1 灯以下）の状態にならないようにしてください。この状態で長期保管すると電池がダメージを受け、容量低下の状態によってはバッテリーの交換となる場合があります。

要 点

バッテリーは完全に放電してしまうと再充電して使用することができなくなります。

- 長期間使用されないときは、バッテリーの残量が 20%以下（バッテリーの残量表示が 1 灯以下）の状態を避けるため充電してください。
- 保管する前にワックスがけをしてください。（マット塗装部分を除く）サビを防ぐ効果があります。

長期間保管して再使用するときは

- 長期間（1 か月以上）保管して再び使用する場合は、必ず充電をしてから使用してください。（通常の充電よりも若干時間がかかる場合があります。）

- 走行前に、各部の点検をしてください。
- 充電する前に、充電コードおよび充電プラグの点検をしてください。

お車の手入れ

JAU28081

アフターケア用品について

大切な車の寿命は、使用するオイルの品質により大きく左右されます。ヤマハの車には、ヤマハ純正用品をご使用ください。

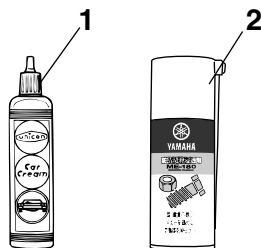
JAU28360

ユニコンカークリーム（ワックス）

塗装面の汚れを簡単にとり、手間をかけずに美しい光沢が得られます。また、どんな塗装にも使用できる伸びのよいワックスです。

ME-180（防錆潤滑剤）

防錆、潤滑、防湿、浸透力に優れた金属保護液です。



9

1. ユニコンカークリーム
2. ME-180（防錆潤滑剤）

寸法：	乗車定員：	フロントブレーキ：
全長：	1 名	ブレーキ形式：
1565 mm		機械式ドラムブレーキ
全幅：	性能：	リヤブレーキ：
600 mm	一充電走行距離（定地）：	ブレーキ形式：
全高：	43 km (30 km/h)	機械式ドラムブレーキ
990 mm	最小回転半径：	懸架方式：
シート高：	1700 mm	種類（前）：
745 mm	最高出力：	テレスコピック
軸間距離：	1.4 kW@2550 r/min	種類（後）：
1080 mm	(1.9 PS@2550 r/min)	ユニットスイング
最低地上高：	最大トルク：	緩衝方式：
110 mm	9.6 Nm@280 r/min	ショックアブソーバータイプ（前）：
	(0.98 kgf-m@280 r/min)	コイルスプリング
重量：	車体：	ショックアブソーバータイプ（後）：
車両重量：	フレーム形式：	コイルスプリング / オイルダンパー
56 kg	バックボーン	フロントタイヤ：
分布荷重（前）：	キャスター：	種類：
20 kg	25.00°	チューブ有り
分布荷重（後）：	トレール：	サイズ：
36 kg	75.0 mm	60/100-12 36J
車両総重量：	ステアリングシステム：	メーカー / 銘柄：
111 kg	ハンドル切れ角（左）：	INOUE RUBBER/MB80
分布荷重（前）：	45.0°	リヤタイヤ：
36 kg	ハンドル切れ角（右）：	種類：
分布荷重（後）：	45.0°	チューブ有り
75 kg		

製品仕様

サイズ:

60/100-12 36J

メーカー / 銘柄:

INOUE RUBBER/MB80

ヘッドライト:

ヘッドライト球:

ハロゲンバルブ

バルブワット数 x 個数:

ヘッドライト:

12 V, 40 W/40 W x 1

テール / ブレーキランプ:

12 V, 5.0 W/21.0 W x 1

方向指示灯 (前):

12 V, 10.0 W x 2

方向指示灯 (後):

12 V, 10.0 W x 2

パイロットランプワット数 x 個数:

警告表示灯:

LED

ブレーキレバーとブレーキペダル:

フロントブレーキレバー遊び:

10.0-20.0 mm

リヤブレーキレバー遊び:

10.0-20.0 mm

フロントドラムブレーキ:

ライニング厚さ:

3.0 mm

使用限度:

1.5 mm

リヤドラムブレーキ:

ライニング厚さ:

4.0 mm

使用限度:

2.0 mm

ホイールトラベル:

ホイールトラベル (前):

50.0 mm

ホイールトラベル (後):

55.0 mm

タイヤ空気圧 (冷間時):

前輪 (1名乗車):

200 kPa (2.00 kgf/cm²)

後輪 (1名乗車):

250 kPa (2.50 kgf/cm²)

JAU36640

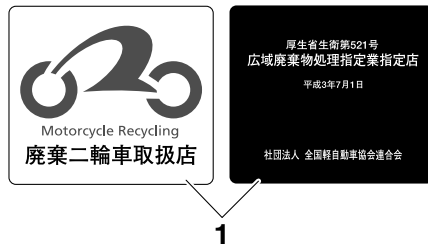
二輪車を廃棄する場合は？

廃棄を希望する場合は？

廃棄を希望される二輪車がある場合は、お近くの「廃棄二輪車取扱店」にご相談ください。

廃棄二輪車取扱店とは？

(社) 全国軽自動車協会連合会の登録販売店で、広域廃棄物処理指定業指定店として登録されているお店が「廃棄二輪車取扱店」です。廃棄二輪車を適正処理するための窓口として、店頭「廃棄二輪車取扱店の証」が表示されています。



1. 廃棄二輪車取扱店の証

リサイクル費用とは？

廃棄二輪車を適正に処理し、再資源化する費用です。二輪車リサイクルマークが車体に貼付されている二輪車は、リサイクル費用を

メーカー希望小売価格に含んでいますので、リサイクル料金はいただきません。ただし、リサイクル費用には運搬および収集料金は含まれていませんので、廃棄二輪車取扱店または指定引取場所までの運搬・収集料金は、お客様の負担になります。運搬・収集料金につきましては、廃棄二輪車取扱店にご相談ください。

二輪車リサイクルマークの取り扱い

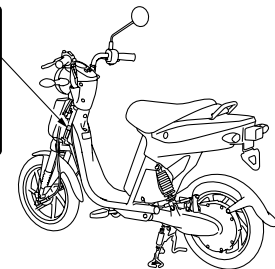
この車には、下図の位置に二輪車リサイクルマークが貼付されています。

廃棄時に二輪車リサイクルマークの有無を確認しますので、絶対に剥がさないでください。二輪車リサイクルマークは、剥がれや破損による再発行、部品販売の取り扱いはございません。

剥がれや破損でリサイクルマーク付き対象車かどうか不明の場合は、下記へお問い合わせください。



1



1. 二輪車リサイクルマーク

廃棄二輪車に関するお問い合わせについて

廃棄二輪車に関するお問い合わせは、最寄りの「廃棄二輪車取扱店」または下記へお問い合わせください。

(財) 自動車リサイクル促進センターホームページ

<http://www.jarc.or.jp/>

二輪車リサイクルコールセンター

電話番号 03-3598-8075

受付時間 9時30分～17時00分(土・日・祝日・年末年始等を除く)

JAU28391

サービスマニュアル(別売)の紹介

サービスマニュアルには、点検・調整や分解・組立の方法を写真やイラストを用いて説明してあります。車の概要や構造を理解するためにご利用ください。

サービスマニュアルのご注文は、ヤマハ販売店で受けております。部品番号をお知らせください。

EC-03 サービスマニュアル

部品番号：

QQS-CLT-000-1CB

JAU50490

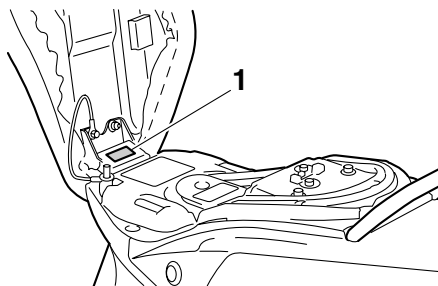
車両情報

モデルラベル

パーツオーダー、アフターサービスなどに使用します。

モデルラベルは、あなたの車を正確に特定するための情報をコード化したものです。ご相談の際には、車名およびモデルラベルの内容を正確にご連絡ください。

モデルラベルは、シート下に貼り付けてあります。



1. モデルラベル

あなたの車の情報を記入し、控えてください。

車名は

EC-03

モデルラベル

製品仕様を示しています。

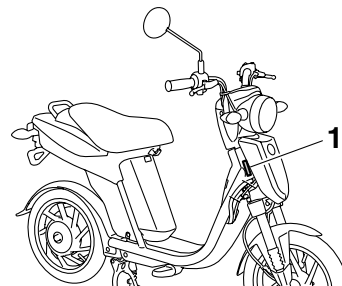


カラーリングを示しています。



JAU50500

車台番号



1. 車台番号

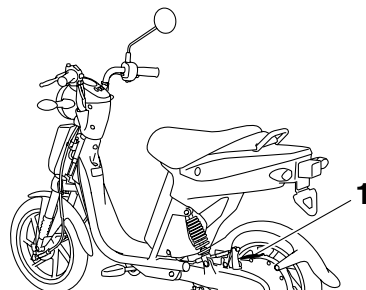
ナンバー登録、自動車保険の加入などに使用します。

詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。

JAU50510

JAU50520

原動機番号

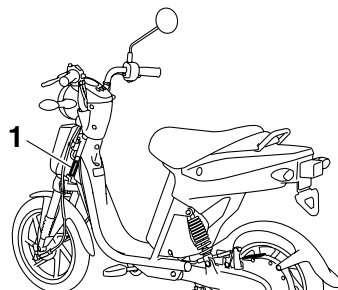


1. 原動機番号

ナンバー登録、自動車保険の加入などに使用します。

詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。

型式認定番号



1. 型式認定番号

ナンバー登録、自動車保険の加入などに使用します。

詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。

索引

あ	あなた自身のために..... 1-1	シートの開閉..... 4-11	バッテリーの上手な使いかた..... 3-3
	アフターケア用品について..... 9-4	充電コードおよび充電プラグの点検..... 8-7	バッテリーの知識..... 6-11
	暗証ロックの使いかた..... 4-7	充電時間..... 6-10	パワーモード／標準モード..... 3-1
	安全に充電していただくために..... 1-6	充電する場所..... 6-1	ハンドルスイッチ..... 4-10
う		充電のしかた..... 6-3	ふ
運行において異常が認められた箇所の点検..... 8-8		充電の進行状態の表示..... 6-11	ブレーキ..... 7-4
お			ブレーキシューの摩耗点検..... 8-5
おしらせ音について..... 4-1	す	スタンディングハンドル..... 4-13	ブレーキレバーの遊び、きき具合の点検..... 8-4
主な特徴について..... 3-1	せ		へ
か	洗車..... 9-1		ヘッドライト上下切り替えスイッチ..... 4-10
加速と減速..... 7-4	そ	走行距離の目安..... 3-2	ヘルメットホルダー..... 4-12
型式認定番号..... 11-3	た		ほ
環境との調和のために..... 1-5	タイヤ..... 8-3		方向指示器スイッチ..... 4-11
き	ち		保管のしかた..... 9-2
キーの取り扱い..... 4-1	駐車..... 7-5		歩行者と他の車のために..... 1-5
け	て		ホーンスイッチ..... 4-11
原動機番号..... 11-3	低速、加速の状態の点検..... 8-2		ま
こ	点検整備の実施..... 8-1		マルチファンクションメーター..... 4-3
交換部品..... 1-6	と		め
こんなときは..... 8-8	灯火装置および方向指示灯の点検..... 8-6		メインスイッチ..... 4-2
コンビニフック..... 4-12	に		も
さ	日常点検箇所／点検内容..... 5-1		モデルラベル..... 11-2
サービスマニュアル（別売）の紹介..... 11-2	日常点検の実施..... 5-1		モーターの異音の点検..... 8-2
し	二輪車を廃棄する場合は？..... 11-1		
車体各部の給油脂状態の点検..... 8-6	は		
車台番号..... 11-2	発進..... 7-3		
車両情報..... 11-2	発進の準備..... 7-1		
書類入れ..... 4-12	バックミラー..... 8-6		
	バッテリー残量の目安..... 3-4		

あなたの街のあなたのお店

最寄りのお客様相談窓口については、メンテナンスノートの
巻末をご覧ください。

QQS-CLT-100-1CB

再生紙を使用しています



PRINTED IN JAPAN
2010.06-0.6 × 1 
(J)